

1993

# 講義要項

*SHIRAUME GAKUEN COLLEGE*



1993年度 白梅学園短期大学

目 次

一般教育科目 .....	1
外国語科目 .....	6
保健体育科目 .....	7
保育科専門教育科目 .....	8
心理学科専門教育科目 .....	2 1
教養科専門教育科目 .....	3 1
教養科教職科目 .....	5 2
教養科博物館科目 .....	5 4
専攻科保育専攻専門教育科目 .....	5 6
専攻科福祉専攻専門教育科目 .....	6 5

# 一般教育科目

1年次・2年次

## 《人文系科目》

哲 学

田 中 未 来

副題—近代ヒューマニズムの系譜—

- 1) 近代ヒューマニズムの2つの源流
- 2) 近代の諸思想—社会主義・プラグマティズム・実存主義等とヒューマニズム
- 3) 科学とヒューマニズム
- 4) 教育・福祉とヒューマニズム
- 5) 平和とヒューマニズム
- 6) 現代社会に生きるわたくしたちと、ヒューマニズムの理念

文 学

東 喜 望

将来に資するために、口承文芸をとりあげます。

初めに、口承文芸（昔話・伝説・神話など）を概観し、日本の代表的な話をとりあげながら、その話の淵源をたずねていきます。

大陸や環太平洋諸地域との関連も積極的に考究していく予定です。

文 学

久保木 壽 子

古代の文学作品をできるだけ多く紹介しながら、その作品の特質を、時代・状況との係わりの中で明らかにしていきたい。

『古事記』から『源氏物語』まで、凡そ時代を追いながら神語りから物語へと散文作品の展開を見ることになる。

「文法」に縛られていた作品を、楽しいもの、意義あるものと感じられるような講義にしたい。

文 学

栗 田 廣 美

「小説を読む」ことの、豊かさ深さにふれてもらうことが、本講の目的である。主として日本の近代小説を例にしながら、ある意味では「作り話にすぎぬ」小説が、なぜ我々の心をうつのか、という「芸術の秘密」にも迫りたい。

「小説を自分で読むこと」が、前提として当然要求される。指定された作品は必ず読んで来ること。

## 歴史学

渡辺新

今年度は日本近代史を中心に講義する。その過程で歴史的な考え方とはどういうことか、歴史学とはどういう学問かを考えてゆきたい。また、女性論、天皇制国家論、地域社会論など隣接科学との接点も探してみたい。

## 歴史学

平賀明彦

明治維新以後の日本の近代を対象にしなが、具体的な歴史過程に沿って「近代化」とはそもそも何なのかを考えていきたい。その際、細かい歴史事実や年代などにこだわるのではなく、広い視野で歴史のダイナミックな流れを追うことをこころがけ、そのような歴史に対する見方が、現代社会を理解するうえでどのような意味をもつかについて考えてみたい。資料、参考文献はそのつど紹介する。

## 美術

上野光子

日本を中心とした東洋美術。かってインド・中国・朝鮮の文化をリードし、日本文化の形成に大きくかかわってきた仏教美術を軸に、都市・建築・彫刻・工芸・庭園の代表的具体例にそって講義します。

その中で、歴史的、風土的背景をふまえながら、それぞれの国の美のとりえ方の違い、しいては日本人の美意識について考えます。スライド・ビデオ使用。見学も予定しています。

## 美術

稲木吉一

日本の古代から近世にかけての絵画の歴史について概観する。各時代の作品の説明を通して、西洋画とは異なる日本絵画の特質について言及してみたい。

## 《社会系科目》

### 社会学

鈴木秀一

社会学は、時代の科学ともよばれる学問です。それだけに他の社会科学にはない特徴をもっています。その一つは、現代人の生活様式を、全面的にとらえようとする方法にあります。つまり、社会心理的な面と社会構造的な面の両方をとらえようとするわけです。本年度は、まず基本的な社会学理論を学んだうえで、それを使って今日の日本社会論を考えてゆこうと思います。家族、都市、消費社会そして国際化する労働環境などがテーマです。

## 社会学

民秋言

人間は社会生活から切りはなされては生きていくことができない。

「人間は社会的動物である」という前提にたつて、人間のつくる社会を解明するのが社会学である。すなわち、人間と人間との社会的交渉という角度から社会を観察し、そこから得られた諸現象をその対象とする。

本講では、とくに家族に焦点を合わせ人間生活とのかかわりについて検討する。

## 経済学

奥須磨子

人間社会は政治的・文化的など多様な側面からとらえることができるが、それらを基本において規定するのが経済構造であるという見地から、私達が生活している資本主義社会の基礎的仕組を理解することを課題とする。したがって経済理論が講義の中心となるが、人間社会の発展段階からみた資本主義社会の位置についても触れることにより、私達が生活する社会の歴史的到達点と今後に残されている問題のいくつかを考えてみたい。

## 経済学

富永静枝

封建社会が崩壊し、資本主義社会が展開していく過程を、イギリスと日本を対比しながら考察し、ついで資本主義社会における経済発展の法則を理解するために、経済学の基礎理論について講義する。

なお新聞やテレビのニュースなどで問題になっている現在の経済問題などもとりあげるが、中心は経済理論におく。

## 法学（日本国憲法）

中野博土

日本国憲法の骨子である基本原則、天皇、戦争、国民の権利、国会、内閣、裁判所、財政、自治について、その概要を講義することとなるが、日常身近に発生している憲法論争、特にその実例、裁判例などを交えて授業を進める。このことにより、日本国憲法下で市民生活を営むものとして、憲法及び関連諸法令が、現実社会生活の中で機能していることを実感させ、また、市民の幸福の追求と法とが不可分の関係にあることの理解を深める。

## 法学（日本国憲法）

工藤茂裕

日本国憲法の基本原理を中心に、講義形式で行うが、比較法的視点も取り入れ、単なる逐条解説とはしない。

なお、かかる憲法を素材とした検討を通じて、法一般の諸問題についても考えることとする。

## 心理学

木津川 家 久

学問・科学の特質を考察した後、心理学の目的と方法を具体的に説明する。これらに続いて、社会的問題となっている現象を心理学の立場から検討をすることを目的として次の内容の講義をおこなう。

被暗示性を利用した販売法対策、性格の類型的な説明の流行、性格テストに類似した方法の氾濫、不適応問題を生じる育児態度・育児法、薬物・アルコール中毒と家庭環境、学校不適応問題と思春期の心理、不適応問題と心理療法。

## 《自然系科目》

## 数 学

入来院 ひさ子

一般教養の数学として、普段の生活に結びついた身近な事象を題材にし、具体的に考えやすい分野である統計学の基礎を学ぶ。さらに、読み書き算盤に次ぐ第4の基礎的素養と認識されつつある情報処理の基本的な概念を学ぶ。

身の回りにある様々な数値や情報にふりまわされるのではなく、あふれる情報に正しく意味付けし、必要なものを選択し、それをを用いて自分で考え分析し、生かせる能力を身につける事を目的としたい。

## 化 学

刈 米 孝 夫

概要・科学の中の化学の位置を先づ知って貰い、化学を中心とした見方で宇宙の形成・地球・地球上での生物と人間の生活に及び、化学の効用と害毒について将来の職業人・主婦としての基本的化学知識を教育する。

視点・人間が便利の為に決めた化学を中心にして人間とのかかわりを知って貰う。  
授業・講義・教育科学的ビデオ・実験。

## 化 学

滝 沢 靖 臣

我々人間の生活に於いて、食糧、健康、機能性物質、環境、エネルギー等、どれをとっても化学と深く関わっている。身近にある“物質”の発展や進歩は特にめざましいものがある。物質は“化学の目”を通して、はじめて正しく理解されるものであり、本講の中心は次の3点を主として解説し、探求する。(1)近代化学への発展の過程 (2)化学の基礎となる考え方 (3)身近にある化学現象について。

## 生 物 学

小 作 明 則

講義は高校教育課程の生物学的知識を基礎に我々を取り囲む生物環境をより具体的に解説し、人間生活の置かれている生物、自然環境の理解を深めることを目的とする。講義は具体性を高めるために身近に存在する生物を例に、より多くの実物写真等により知識と実物の統一された認識を持つ手がかりをあたえたい。また逆に現実の生物から知識を得るために具体的にどのようにしてゆくかという過程についてもふれたい。

## 生 物 学

吉 川 研 二

日本列島は、宗谷岬(北緯45.5度)から、波照間島(北緯24度)まで、およそ2,500kmにわたって連なっている。多くの山岳、火山、海岸などの地形や、亜寒帯から亜熱帯までのさまざまな動植物が見られ、世界的にも独特な生物相を形成している。私たちの祖先はこの自然から多くの幸を得てきた。しかしこの豊かな自然は、経済成長に伴なって急激に失われつつある。その最大の原因は生息環境の消滅や資源の乱獲などである。野生生物の生活を知り、私たちが子孫に継承すべき自然を知ることは最もさし迫った課題である。

## 地 学

金 尾 直 敬

◎主題—宇宙と地球と人間生活

地学は、地球とそれをとりまく宇宙の科学である。地球・宇宙のありさま、しくみ、誕生から現在までの歴史について学ぶ。

◎内容—地球と宇宙(太陽系・銀河系・宇宙の構造と進化など)、地球の概観、地球の構成、地殻変動(地震・火山)、地球の歴史、地球と人間生活(気象・海洋・陸水・地下資源)

◎講義の方法—『地学図説集』(テキスト)に沿って、高校で地学を選択していないものにも理解できるように、わかりやすく講義したい(質問歓迎)。

## 《総合科目》

## 人 間

木津川家久・佐々加代子・栗田廣美・寺地功次

「人間関係」を中心テーマとして4名の教員がそれぞれの専門領域から知識を提供し、見方・考え方を紹介して行く。受講者が各自の経験やもっている知識と重ねあわせて、見方・考え方を発展させることを期待している。

内容は人間関係とコミュニケーション、文化による人間関係の差異、成長過程の経験とその後の人間関係、文学・芸術と人間関係、政治・国家・戦争と人間、民主主義と人間関係等である。

## 外国語科目

1年次・2年次

外国語（英語、独語、仏語）の基礎をしっかりと身につけると同時に、外国の言語、文化、社会を自己のなかで相対化することを目的とする。

### 《保育科》

英語	I-1	中島好伸・清野茂子・野田尚文・森田眞澄
英語	I-2	中島好伸・清野茂子・野田尚文・森田眞澄
英語	II-1	後藤玲子
英語	II-2	後藤玲子
独語	I-1	正路妙子
独語	I-2	正路妙子
仏語	I-1	村山知恵
仏語	I-2	村山知恵

### 《心理学科》

英語	IA-1	白井菜穂子・小古間甚一・後藤玲子
英語	IA-2	白井菜穂子・小古間甚一・後藤玲子
英語	IB-1	森田眞澄・後藤玲子・藤田久美子
英語	IB-2	森田眞澄・後藤玲子・藤田久美子
英語	IIA-1	白井菜穂子・小古間甚一・森田眞澄
英語	IIA-2	白井菜穂子・小古間甚一・森田眞澄
英語	IIB-1	森田眞澄・後藤玲子・藤田久美子
英語	IIB-2	森田眞澄・後藤玲子・藤田久美子
独語	IA-1	正路妙子
独語	IA-2	正路妙子
独語	IB-1	正路妙子
独語	IB-2	正路妙子
独語	II-1	正路妙子
独語	II-2	正路妙子
仏語	IA-1	村山知恵
仏語	IA-2	村山知恵
仏語	IB-1	村山知恵
仏語	IB-2	村山知恵

### 《教養科》

英語	I-1	田中安行・ハベル清子・小古間甚一・藤田久美子
英語	I-2	田中安行・ハベル清子・小古間甚一・藤田久美子
英語	II-1	後藤玲子・ハベル清子・森田眞澄・清野茂子
英語	II-2	後藤玲子・ハベル清子・森田眞澄・清野茂子
独語	IA-1	正路妙子
独語	IA-2	正路妙子
独語	IB-1	正路妙子
独語	IB-2	正路妙子
仏語	IA-1	村山知恵
仏語	IA-2	村山知恵
仏語	IB-1	村山知恵
仏語	IB-2	村山知恵

## 保健体育科目

1年次

### 体育講義

村田 務・池森 隆虎

健康の増進と体力の向上をはかり、豊かな生活を営む上で必要な基礎的知識について、保健学的、運動学的視点から理解することをねらいとする。

保健学的視点からは、現代社会の健康問題について概括するとともに、そのうちの1つを取り上げ、その医学的側面と、発生の背景となっている心理学的、社会学的側面について明らかにする。

運動学（主に運動生理学）的視点からは、身体活動による体力向上のメカニズムと、身体活動が健康の維持・増進に与える影響について明らかにする。

### 体育実技

村田 務・池森 隆虎・松岡由紀子

科学技術の進歩は、量的に豊かな生活をすることを可能にしてきた。反面、この進歩による生活活動の省力化や生活様式の複雑化は、運動不足や過剰摂食、メンタルストレス等の増加などを伴い、様々な健康問題を生じさせた。

今日、このような状況の中で注目されているのが「生涯体育（運動・スポーツ）」である。生涯にわたる身体活動は、疾病の予防や健康増進に寄与するだけでなく、生きがいなど質的に豊かな生活を送ることを可能にする。

体育実技では、このような観点から、継続的な身体活動を通して、体力の維持・増進をはかるとともに、指導的立場から生涯にわたって実施できるような技能や態度を習得することをめざす。

# 保育科専門教育科目

1 年次

## 《目的理解》

### 社会福祉概論

都留民子

社会福祉、特にその固有の視点を、現代社会の動態的な個人・家族のニーズに即して学習する。諸外国における社会福祉の理念・思想、制度、実践・活動の動向をおさえながら、わが国の社会福祉の特質を学習することを目的とする。

### 児童福祉

小林捷哉

児童福祉は児童の生活を保障し、心身の健全な成長発達を促進させることを目的とした社会的方策である。本講はその児童福祉に関する基礎的な知識を授けるとともに、現代日本における児童福祉（事業）の現状と課題を把握することをめざす。講義の内容は児童問題、児童福祉の成立と展開、児童福祉の意義と概念、児童福祉の対象・主体・方法、児童福祉のサービス体系、などによって構成される。

### 保育原理 I

岡本 富郎・山口 寛子

「保育原理 I」は1年前期・後期に開講される。前期は、子どもと保育の現状、子ども観、保育の意義、目的、目標、制度、歴史、思想などについて講義する。

後期は、前期の内容を継承しつつ、保育の計画、内容、方法に関する原理について講義する。具体的には、乳幼児の発達、学習に関する内外の諸理論と保育内容の諸領域、指導計画、指導方法の関係について、原理的、実践的に検討してゆく予定である。

### 教育原理

黒田 瑛・岡本 富郎・田中 未来

この科目では、ヒューマンイズムの思想にもとづき、人間の自己実現の援助としての教育のあり方について述べる。まず、教育の本質について述べ、続いて教育の対象としての人間、発達と教育について話す。さらに、西洋と日本の教育思想をたどり、教育の目的について学ぶとともに、教育制度、学校教育及びその内容と方法、学校の運営管理、家庭教育、社会教育について話す。

## 《対象理解》

### 発達心理学

土佐林 一

「発達をどうとらえるか」は、研究者によってそれぞれ違った見解を出している。それは子どもの発達の見方や考え方などの人間発達の基本的な事柄にふれるからである。本講義では、発達を個体と環境という立場から説明し、次に、ゲゼル・フロイド・ピアジェなどの発達理論を展開し、人間の誕生から6ヶ年間の発達の姿を講義する。

教科書としては、有斐閣双書の「子どもの発達心理学」（久世妙子、小嶋秀夫らの共著）

### 教育心理学

高橋 まゆみ

人間を育てるということに関する基本的な事項について学んでいく。

学ぶこと（学習の基礎）、教えること（学習指導法）、はかること（教育評価）、性格の形成、適応・不適応、保育集団のあり方などについて事例を通して考えてみる。理論的な事実や用語を理解しながらも、身近な保育・教育の現象を自分の視点でとらえ直しながらか進めていくつもりである。教育心理学的なものの見方・考え方を促すような講義としたい。

### 小児保健 I

樋田 豊治

小児保健は保育の基礎である。保母は健康に成長する子の知識（生理、発達、栄養、精神衛生）を学ぶと共に、病気の知識（子どもがかかりやすい病気の症状と手当ての方法）、障害を持つ子どもの保育についての知識を身につけておかなければならない。

私は障害児施設の医師及び保育園園医として、保母と共に仕事をしているので、その経験をもとに講義をする。

### 小児栄養

北 郁子

1. 小児期栄養の重要性
  - (1)小児期発育の栄養からみた特徴
  - (2)小児期栄養と食生活の特性
2. 発達栄養生理
3. 小児の栄養代謝とたべもの
4. 小児の栄養所要量
5. ヒトから人間に成長する、小児期の栄養と食事の視点から食事の自立を考える。

## ＜内容・方法理解＞

### 保育内容総論

近藤正樹・八木絃一郎・民秋 言

1学年次前期に位置するこの科目は、保育志望の学生諸君に開かれた「入り口」として、「子どもの園生活と保育」を概観することと、いかに「保育」が意義深いものかということを理解することを主目的にし、「保育」の営みとその「内容」に関する基本的理解を理論的且つ演習的（集中演習）に追究する。

### 健康（保健行動）

村田 務

幼稚園や保育所で指導・展開される領域「健康」のうち保健分野を取り扱う。授業では、「いかに、楽しくてためになる保健指導を展開するか」を課題とし、その基礎的知識と技術を学ぶ。

学習内容は、①健康論（現代の健康問題と子供の健康）、②保健行動論（諸保健行動とその背景要因）、③保健教材論、保健指導技術＝教授行為論の学習、及び④指導案の作成と⑤模擬授業の実践からなる。

授業は、一方的な教授だけでなく、学生の討論や演習作業を通して展開する。

### 言語Ⅰ（言語行動）

佐々 加代子

言語は人間の特徴のひとつであり、思考、行動に代表される。人間関係展開の手がかりともなる。出生直後から死に至るまで言語が社会生活で機能していくことが目指される。言語を周辺領域との関連でおさえながら、人間社会における言語、保育における言語を考える。乳幼時の言語発達、言語発達の歪みの問題について促進要因と阻害要因を検討する。

言語の諸側面を育む方法論の一助に演習を交える。

当該年度作製の「保育者養成のための言語」をテキストとして用いる。

### 乳児保育Ⅰ

西ノ内 多恵

0、1、2歳児クラスを含めた乳児保育の目的と意義、乳児保育の原理、内容と方法などについての基礎的理解を得ることをねらいとする。

1. 乳児保育とは
2. 乳児保育における集団と個の考え方
3. 乳児保育の条件（人的・物的）
4. 乳児の生活と遊び

（尚、特別講義の形で、医学的な立場から乳児の成長・発達について内藤寿七郎先生に講義していただく予定です。）

## 児童文化

志摩 弘

児童のおかれていた現代の文化状況と伝承文化の今日的意義と方法を学ぶ。絵本や昔話等を読み聞かせ、正しい理解力を育てるために子どもの劇や人形劇を学ぶとともに、正しい話し方、発音、言葉の選び方、表現の仕方、子どもへの話し方を学ぶ。さらに、文字環境をととのえ、文字への関心を子どもが持つよう保育の在り方について学習する。

## ＜基礎技能＞

### 音楽Ⅰ（基礎理論） 今井久仁子・加宮 葵・諏訪鈴子・関根美和子・舛本清美

前期は、音程、音階、調、初歩和声等の音楽の基礎理論で、対象は30名、90分授業で実施する。（毎回、小テストをやりながらすすめる、休むと次回の授業がわからなくなるので欠席には十分注意する事。）

### 音楽Ⅰ（基礎技能）（ピアノ）（声楽） （ピアノ）今井久仁子他16名 （声楽）加宮 葵・豊野雄次郎

後期からは基礎技能の実技に入る。（ピアノ）は、両手の練習、音符の分割、音の切り方、指をくぐらせる等、最低12タイプの弾き方を、種々の調性による小曲を弾くなかで、理解し習得するように指導する。3～4名45分の枠内で個人レッスンで実施する。

（声楽）は、簡単な発声練習と初歩的なソルフェージュの練習を主体とし、読譜力を身につける事を目的としている。

### 図画工作Ⅰ 花原 幹夫・八木絃一郎・枝常 弘

保育をめざす学生は、自らも表現文化活動を創造的に享受できることが望ましい。

前半期では、学生自身のために必要な造形的表現の基礎技能の習得を目的にする。紙や絵の具や空き箱などの身近な素材を使った造形表現の実技演習を行う。

後半期では、子どもの造形の基礎知識と指導に関する基礎知識の習得を主目的に演習する。



## 《研究理解》

### 基礎ゼミ

専任教員

基礎ゼミでは、対象を論理的に捉える方法の演習を行う。実際には、ある指定した事象を論理的に捉える（観察、分析、整理、まとめるなどを含む）基本的な方法（話す、書く）の演習である。具体的には、話す、書く（レポートの書き方、まとめ方）演習中心になる。

## 《教育実習》

### 幼稚園実習

岡本富郎・若松美恵子・村田 務

幼稚園実習は幼稚園免許状を取得するために欠かせない。1年次は6月中旬から6日間実習を行なう。この最初の実習でつまずいたり、失敗すると、2年次（5月下旬から18日間実習）になって実習をさせてもらえない場合があるので、1年生は高校生気分を今すぐ捨てて自分で主体的に勉強してほしい。特に、言葉づかいや挨拶などの生活のけじめ、礼儀作法や掃除の仕方などがきちんとできていないと、よい実習はできない。何故なら、実習中、学生は半分は職業人（保育者）として実習を行うからである。

## 《保育実習》

### 実習指導

保育所実習・施設実習担当教員

保育所の1年次の実習指導においては、

- ・実習前には、主に、保育所実習の目的
- ・1年次のテーマ、保育所の機能と役割
- ・実習日誌の書き方、実習態度

など系統的に学習する。事後指導としては、実習体験のまとめと報告、討論、レポート作成など行う。施設実習は、1年次においては、2年次の予備段階として、施設実習の概要、とくに児童福祉諸施設の体系と役割を中心に学習を行う。

### 保育所実習 I

山口寛子・吉川研二・花原幹夫

保育所実習 I では、11月に10日間の実習を行う。保育所実習としては、最初の体験でもあり、実習生は、保育所保育の大まかな内容と流れ、各園の概況、機能を理解し、保育科の学生としての意識の形成、保育のイメージ作り、学習課題の発見などできることをねらいとする。と同時に、10日間の実習を通じて、保育所の子どもたちの生活と発達、保育計画と指導方法に関しても、具体例により学び、2年次の学習の土台を豊かにしてゆきたい。

## 保育科専門教育科目 2年次

## 《目的理解》

### 社会福祉方法論

都留 民子・川廷 宗之

社会福祉のニーズの実現の為に、社会福祉固有の視点と方法に基づき展開させられてきた実践活動と援助技術を学ぶ。理論としては、主としてアメリカで発展したソーシャルワーク（ケースワーク、グループワーク、コミュニテ・オーガニゼーション、ソーシャル・サーベイ、ソーシャル・アクション、そしてケース・マネジメント等）について学習するが、わが国の福祉施設・現場で独自に展開されている実践活動も事例としてとりあげる。

### 保育原理 II

西ノ内多恵・山口 寛子

保育原理 II においては、保育所における保育についての方法の原理をまず学ぶ。

次いで幼児クラスに関しては保育の形態、集団の規模、活動の種類に応じた指導法をとりあげる。乳児クラスに関しては、3歳未満児の年齢的特徴に留意しながら、遊びを中心とした諸活動の展開過程と指導法について、環境、保育者、子どもなどの具体例を通じて学ぶ。

### 養護原理 I

浅井 春夫

社会的養護における施設養護のあり方について、現状、歴史、制度などを理解するとともに、各種の児童福祉施設における実践に共通する養護上の基本原理の基礎的理解をめざす。内容の骨子は、1 児童問題の捉え方、2 施設養護と里親制度、3 養護系施設、4 障害系施設、5 情緒・教護系施設の現状と実践上の課題、6 施設養護の方法論、7 養護原理のまとめ、8 児童福祉施設をめぐる政策動向と今後の展望などである。

### 養護原理 II

浅井 春夫

養護原理 I で学んだ施設養護の基本原則を踏まえて、施設養護の具体的な内容について最新の成果を紹介しながらすすめていく。内容の骨子は、1 子どもたちの生活実態、2 日常生活の領域と実際、3 高年齢児の養護、4 性教育、5 児童虐待への対応、6 アフターケア、7 職員論、8 地域社会と施設、9 ホスピタリズム論の克服などである。問題意識の形成に役立つ講義をめざしたい。

## 《対象理解》

### 臨床心理学

三沢 英夫

最近、心身症や精神分裂病など様々な心理的問題がクローズ・アップされているが、誰しもが一生のうちには、何らかの心理的苦境に立つといえる。本講では、そのような悩み苦しむ個人を理解し、彼らがより充実した生活を送れるように援助しようと努める臨床的態度と知識を養う。同時に、これによって学生諸君が自分や他者への理解を深め、また保育現場で母親等の相談にあずかる際の基本姿勢を習得する参考の場としたい。

### 小児保健Ⅱ

樋田 豊治

小児保健Ⅱは、福祉施設に入所している子どもの保健である。家族と別れて施設で生活する子どもは、何らかの身体的・精神的・社会的ハンディキャップを持っている。施設で働く保母は、障害の原因・症状・指導技術の知識、施設の健康管理を身につけておく必要がある。

私は心身障害児施設の医師として、保母と共に仕事をしてきたので、その経験をもとに講義をする。

### 小児保健実習

外ノ池碩子・水波佳津子

乳幼児保育に必要な看護と技術、保健衛生について習得する。

1. 小児保健実習の目的
2. 小児の健康状態の観察
3. 主な症状に対する看護
4. 小児に起りやすい事故とその応急処置
5. 小児の身体測定法とその評価
6. 小児の生理的条件の測定と観察
7. 実習・沐浴・消毒法・薬の与え方・罨法・救急法、繃帯法、乳幼児の取扱法、乳児体操

### 小児栄養実習

北 郁子・菊池波津子・国井雅代

小児期の食事の特性につき胎児期、乳汁期、離乳期、幼児期、学童期に分け理論と実習を行う。

1. 発育に必要な栄養と食文化を子ども達に能動的に知らせる料理形態と共食のしかた
2. よい食習慣の確立のための理論と実習
3. 食事計画とその手順
4. 小児期食事の現状と問題点

## 精神保健

工藤 行夫

精神的健康の保持、増進をはかり、精神障害を予防、治療する諸活動が精神保健である。WHOの健康の定義に「身体的、心理的、社会的にwell-beingの状態にあること」とあるように、身体レベルから社会レベルまで広い領域が含まれる。精神の発達段階（ライフサイクル）に応じたそれぞれの精神保健を、臨床的知見を交えながら検討する。

## 《内容・方法理解》

### 教育課程総論

岡本 富郎

「教育課程総論」は他の諸科目との関連で位置づいている。講義では「教育課程」の意味、必要性、園生活のとらえ方、あそび、しごと、課題となる活動、集団、行事、保育上の様々な概念などについて話す予定である。また、教育課程の法規的な側面である「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」についても話す。授業方法としては実際例を紹介しながら話し、受講生と一緒に考えながら進めていくつもりである。

### 人間関係（社会行動）

民 秋 言

子どもが社会的に成長するとはどういうことかを考える。まず人とのかかわりのなかで社会性を習得していくメカニズムをとらえることが課題となる。また、子どもをとりまく社会環境に注目し、それからのそしてそれへのはたらきかけを考える。

### 環境Ⅰ（自然認識）

近藤 正樹・吉川 研二・小作 明則

成長過程にある子供たちを、自然とともに生きる喜びのわかる人間に育てることは、私達に課せられた重い課題です。本講義では身のまわりの環境諸条件のうち、自然事象にかかわるものを扱います。幼児教育者に不足している理科系素養をいかに充足していくか？ これまでに学んだ知識をより確かなものとし、使えるように訓練すること。自然とのふれあい体験が欠落しがちな現在、選択する学生たちに十分な体験教育を施すよう配慮している。そのために授業では数多くの宿題や作業を課したりする。

## 表現 I (文化活動 a)

若松美恵子・加宮 葵

子どもの豊かな人間性を育てるために、様々な音や動きを通して養われる感性や創造性が、無理のない形で表現できるよう、子どもの発達とその特徴を踏まえた指導の方法を実践をからませながら学ばせる。

この中で音楽を通しての子どもの表現活動がスムーズに行われる様に、次の項目を考えていきたいと思っている。・子どもの発達と音楽の関係 ・幼児集団と音楽の関係 ・子どもの音楽教育と保育者の問題 ・指導計画等。

次に、子どもの身体表現活動が豊かに行われるように、次の項目をおさえていきたいと思っている。身体表現の意味・身体表現力の発達・幼児集団における身体表現・身体表現の指導。

## 表現 I (文化活動 b)

八木絃一郎・花原幹夫・海老原京子

子どもは、表出的な表現と共に既存の表現文化に出会い、それらの様式を取り入れて表現する。そして、身振りや音声など“身体を媒体”にした音楽やダンスなどの表現文化活動(文化活動 a)と、紙や空き箱や木材などの平面、立体“物を媒体”にする造形的な表現文化活動(文化活動 b)の両方をミックスして総合的に表現する。ここでは、後者の“造形的な表現文化活動”を扱い、その“援助内容・方法”の習得を目的に演習する。

## 環境 II

近藤 正樹・吉川 研二

環境 II では無理な内容(長期的観察や野外観察など)を体験することにより、環境と人間との関わり方の原点を知る機会としたい。身近な自然を再認識するためのコア・スタディや、“失われた体験”を補充する臨海実習や山野実習、植物栽培などを考えている。

## 言葉 II

佐々 加代子

障害児を含めた乳幼児の言語発達過程において発達助成者として位置づく保育者に、さまざまな物的教材を媒介として育む「方法論」の習得を目指す。個及び集団の発達に見合った教材の選択と技法を学び、さらに評価修正技術の修得に置く。

保育者自身のことばの表現力の養成を基盤にした上で、紙芝居、絵本、パネルシアター、エプロンシアター、人形、素話、ことばあそびなどの教材や視聴覚教材を用いた演習とする。

## 表現 II

リトミック(新宅 泉) わらべうた(茂手木節子)  
童 謡(平野ミヨ子) ダ ンス(若松美恵子)  
デザイン(花原幹夫) 劇(志摩 弘)

子供の表現活動に、より高度な内容・方法を伝えるための指導法を習得する。6コース開講される。

<リトミック>ピアノなどのリズムに合わせ、全身で即時反応の動作をするダルクローズ方法論の幼児向けのもの。<童謡>作詞・作曲された子供のための歌で保育の場で多く歌われているもの。<わらべうた>遊びを伴う伝承的ゲームソング。乳児からの方法論を学ぶ。<ダンス>幼児教育に題材をとった創作ダンスを通し、学生の感受性を高め創造性を養う。<デザイン>描く作るという基本的な造形方法を用い、目的を持って広く人々に伝える。<劇>劇で表現するとはどういう事かを実技を通して理解する。

## 保育計画法

近藤 正樹・西ノ内 多恵

保育を実践するために保育環境を整備したり、保育の時間的・空間的な展開を工夫したり、発達にかなった指導を模索するために、保育者はたえず仮定し、実施し、反省を重ねなければなりません。その作業が保育計画です。保育の目的・計画の立案、評価など、実践の場で直接に必要な諸問題について学理的な講義と、具体例による検討を2人で分担します。保育実習・教育実習の時に直接役に立つ講義です。

## 乳児保育 II

米山 千恵

「乳児保育 I」で学んだ乳児保育の基礎的な事項の上に、より具体的、実践的に乳児保育の実際について理解が深められるよう、保育内容、指導計画、クラス運営について、知識や考え方、方法を学ぶことをねらいとする。

- 1 乳児保育の現状
- 2 生活と遊び
- 3 物的条件
- 4 保育計画と指導計画
- 5 家庭との連携について

## 養護内容

浅井 春夫

養護原理 I、II を踏まえて、施設養護における実践事例の検討、具体的な事例についてロールプレイ方式で学ぶなど、できる限り具体的な場面を想定して、学生が参加する授業をつくっていききたい。

基本的には、養護原理 II で講義した内容を実際に白らの頭と身体で理解して

いくことをめざしているのので上記の科目をあわせて取得してほしい。

## 障害児保育

高橋 まゆみ

まず「障害」の概念を理解し、それに関わる療育や施策あるいは専門スタッフについて地域の諸機関を中心に解説し、保母の位置づけを確認する。さらに、障害のメカニズム、自閉症、学習障害などの障害の種類や行動特徴について事例研究的に取り上げ、保育実践上の課題や解決手段について触れる。また、障害児の発達の評価方法についても学習し具体的な事例に試みる。講義全体を通じて、統合保育のあり方や今後の展望について検討していきたい。

## 家庭管理

佐藤 美千子

児童の成長発達に大きな影響を及ぼす家庭の本質と機能を把握し、家庭管理の意義と実際—家族関係、生活設計、家庭経済、家事労働、生活時間の管理などについての基礎的な事項を講ずる。

## 《基礎技能》

### 音楽 I (ピアノ)

今井 久仁子 ほか15名

自律した毎日の練習の積み重ねが、成果を現してくる重要な時期となります。7月には、余裕をもって、3グレードの試験が受けられるよう、自分の進度を調整し、確実に集中した練習をしてほしいと思います。

### 音楽 I (声楽)

加宮 葵・惣田 修・平野ミヨ子

2年次においては、発声練習・ソルフェージュは、やや高度になり、並行して、新曲の譜読み、はっきりした言葉の発声、歌唱法等を指導し、スムーズに歌が唱えるようにという事を目的としている。

### 音楽 II ピアノ (今井久仁子・諏訪玲子・関根美和子・舛本清美)

うた (加宮 葵・豊野雄次郎・平野ミヨ子)

ギター (渡辺範彦)

始めは不得意であっても、この一年間で得意な科目になったと前向きに自覚できるように、基礎技能の幅を広げ、専門性を高めるための選択科目です。

ピアノ、ギターなどの楽器と声楽にわかれ、曲の視奏、視唱などが的確に、より早くスムーズに出来るようになることを目的とします。

## 図画工作 II (版・木工)

花原 幹夫・樺 公志朗

「図画工作 I」で学んだ造形の基礎技能の中からさらに専門的に学ぶために、特に「版・木工」を通してそれぞれの知識、技能の専門性を高め、表現の広がりをめざしていく演習である。

具体的には、版は、モノを写し、それを版にして複製していく基本的技術を体験していく。木工は、木という素材の理解とそれを加工していく工作の基本的技術を体験していく。

## 体育 I

若松美恵子・高野 牧子

乳幼児の運動に関する発達をふまえ、必要な運動の方法とその指導法を学ぶ。又保育者として適切に運動が行えるよう資質の向上及び体力の増強をめざす。以上を授業の目標として、講義及び実技で行う。

## 体育 II

長谷川 悦示

本講義では、保育現場において子ども達に体育指導をする上で留意しなければならない、子どもの発達に応じた授業の展開と指導方法や指導内容の工夫について、理論と同時に演習による実践を通じて学びます。あわせて保育者に必要な体育の基礎的な教育と基本的な技能の一層の向上をねらいとします。運動種目としては基本の運動を中心に引き上げて、子ども達が楽しく遊びながら運動を学ぶことができるような学習の形態について考えます。

## 《研究理解》

### ゼミナール

専任教員

ゼミナールでは、教員の指導のもとに、テーマに従って1年間にわたる共同の学習を行う。文献・資料の精読や話し合い、あるいは観察、調査など活動内容は多様である。学生が主題について深く学ぶとともに、研究の方法を習得することを目標とする。ゼミナールの人数は15人前後である。ときに応じレポートの提出が課せられるとともに、学年の終りに口頭発表会が予定されている。学生の主体的な参加がのぞまれる。

## 《教育保育実習》

### 実習指導

保育実習・施設実習担当教員

保育所実習 II の実習指導においては、事前指導として、主に、実習の目的・意義・テーマ、保育所における子どもの活動と指導計画、指導法、指導案の立て方等について学習する。施設実習の事前指導としては、養護系と障害系に大別し、基本的事項について説明を行った上で、各施設別の指導の現状と課題等

について学ぶ。事後指導としては、保育所、施設共に、実習体験の報告と討論・まとめ、レポート作成などを行う。

#### 保育所実習Ⅱ

山口寛子・吉川研二・花原幹夫

保育所実習Ⅱにおいては、1年次（必修）における保育所実習Ⅰの学習を土台に、乳幼児の生活、遊び等に関するより高度の観察、理解を進めるとともに、保育者の子どもへの対応、指導過程、指導法等に学び、指導案をたてて実習を行う。

#### 施設実習Ⅰ

浅井春夫・都留民子・高橋まゆみ

養護施設、精神薄弱児施設など各種の児童福祉施設（保育所を除く）における保育実習は保母資格取得のための必須科目である。この実習は児童や職員との人間的なふれあいのなかで施設養護の実際を知ることのできる貴重な機会である。それはまた、保育者をめざす者にとっての人間観、児童観、児童養護観、保育者像を検証し、確立していくことの第一歩となろう。なお、施設保母を志す者には選択実習（施設実習Ⅱ）も用意されている。実習の時期は、2年次の11月に（一部分は8月）予定されている。

#### 施設実習Ⅱ

浅井春夫・都留民子・高橋まゆみ

施設養育についてさらに深く学びたい者のために、選択必修科目の実習として本科目が用意されている。必修の施設実習Ⅰで行なった種類以外の児童福祉施設で実習することになるが、実習の意義や方法は施設実習Ⅰとかわるところはない。施設実習Ⅰ・Ⅱの両方で養護系と障害系（収容または通園）の2種類の実習が望ましい。実習の時期は、2年次の8月の間に随時実施する。希望者は担当教員に早めに相談されたい。

#### 幼稚園実習

岡本富郎・若松美恵子・村田 務

1年次の実習に基づいて、2年次には5月下旬から18日間の実習を行う。この学習では、自分で「指導計画」をプランニング・作成し、実習中の1日ないしは2日間は、実際に先生になって実習を行う。きめの細かい真剣な学習をしておかないと、失敗をしてしまうので、2年次の4月からこの実習に向けて準備をしてほしい。特に1年次の実習後、自分自身で気づいた問題点や指摘されたことをよく反省し、自分で具体的に学習しておく必要がある。

〈基礎心理科目〉

心理学序説

木津川 家 久

学問・科学の本質を概説してから、心理学の目的と方法を具体的に説明する。それに続いて物事の判断の誤りという現象をさまざまな角度から考察する。このほか、心理的発達の特徴、経験から学ぶこと・経験によって行動を変えということ、性格の類型的な見方の効用性とその問題点、性格テストとその利用、知能の測定法等を日常経験することと結びつけて講義する。専門用語の記憶に終わらず、心理的現象を理解してもらいたい。

青年心理学

林 潔

青年期、それは人生で一番変動の大きな時期として位置づけることもできません。

前半は青年心理学を概括的に解説します。

後半は青年期の問題行動を中心に、授業を進めます。

〈教科書〉 岡堂哲雄編 青年期の心理 新曜社 980円

発達心理学

村 田 夏 子

子どもは、現実生活に日々変化してゆく存在である。そして発達に関わる要因は、単一ではなく複雑に影響しあっている。その姿を理解するためには、まず子ども観・発達観について各自が十分に考える必要があると思われる。その上で一般的な発達診断の基準や方法について学習する。また、子どもの発達をよりダイナミックに考えるために、特に遊びと関連させて捉えたいと考える。

条件づけ

荻 野 七 重

人は経験を通して、知らず知らずのうちにある種の反射的行動を示すようになっていたり、あれこれ行っているうちに、自己に有利な結果をもたらすような、あるいは危険や不快を避けるような行動の仕方を身につけていく。人間の行動にこのような変容を引き起す過程（学習の過程）に見られる最も基本的な形態であり、行動の分析の手法でもある条件づけについて、動物や人を被験体として行われた多くの実験によって説明し、講義する。（教科書使用）

性格の形成

木津川 家 久

性格の形成要因としての先天的素質、乳幼児期経験の重要性（ホスピタリズム問題とその対策、母性的養育の喪失の影響、親子の相互作用の効果）、育児法・育児態度と子供の性格、依存から自立への発達過程、自立を促進する環境

条件、マズローの基本的欲求の階層的発達理論、精神分析療法・心理療法・カウンセリング、愛情欲求と不安の理論、不適応問題と家庭環境等、性格の形成と不適応問題について講義する。

## 社会心理学

倉澤壽之

人間は社会的動物であり、「他者」の意味するところは大きい。この講義では印象、好意、恋愛、同調、服従、承諾などのトピックを取り上げ、他者との関わりを二つの側面から考えてゆく。すなわち、「他者をどう思うか」という対人認知の側面、「他者からどのような影響を受けるか」という社会的影響の側面である。この講義を通して、他者との間に存在する様々な問題を実験心理学的な視点から捉え直して欲しい。

## 神経生理学

多喜乃亮介

技術の進歩に伴い神経科学領域の知識が広がってきています。ここでは心理学で扱う心の働きの基礎となる神経系について学んでいきます。どのように構築され、どのように機能しているかを知ることが目標とします。講義では、ニューロンに始まり、ニューロンによる情報伝達、それを支える物質的背景、中枢神経系の解剖学的構造とその働き、研究方法の紹介などを扱う予定です。

## 〈演習科目〉

### 基礎技法演習

菅本康之

心理学を学ぶものが、どうしても避けて通れないテーマに「言語表現」があります。ある言語表現が同時に、人を傷つけたり、感動させたりする、そうした日常において常に起こっていることを思い起こせば、心と言語表現がいかにわかちがたく結びつき合っているかを知ることができます。この講義ではその言語表現の問題を様々な角度から考えてみたいと思っています。みなさんが読み、話し（聞き）、書くことができるように。

### 実験計画法

八木孝彦

科学とはなにか？ 科学的方法とは？ について説明したのち、実験計画の基礎となる概念を学習する。独立変数と従属変数、実験群と統制群、要因計画等である。

ついで実験の分析を行う。実験事例をとりあげ、実験計画のすぐれている点と問題点等を検討する。

なおこの科目はテキスト（別に指示）を使用するので受講者は購入のうえ、授業に出席すること。

## 心理学演習Ⅰ

木津川家久・荻野七重・八木孝彦・金子尚弘・多喜乃亮介・倉澤壽之

心理学は科学的な方法を採用入れることによって大きく発展した。心理学で扱う事象は身近なものが多いので、主観的な解釈に陥りやすいものであるから実験、検査、調査等の方法についての知識は心理学を学ぶ上で不可欠である。

心理学演習Ⅰでは、心理学の研究に必要な基礎的な方法を用いて実験を行ない、その結果をレポートにまとめることによって、実験、検査等の実施方法や結果の解釈の仕方を学ぶ。

## 心理学演習Ⅱ

林 潔・荻野七重・金子尚弘・多喜乃亮介・倉澤壽之・越川房子

心理学演習Ⅱは、心理学演習Ⅰの続きであり、演習課題は大きくなり、一課題あたりの演習時間も長くなっていく。また、研究法からみると、心理学演習Ⅰでは精神物理学的測定法、知覚・学習実験法を中心に学習したが、心理学演習Ⅱでは心理検査法、心理調査法、精神測定法が中心となった演習を行う。

## 文献研究

林 潔・八木孝彦・多喜乃亮介・坂田成輝

担当の教員が自分の専門分野について文献を選択し、授業をすすめる。具体的内容とテキスト（単行本、論文）については別途連絡する。

## 心理統計Ⅰ

荻野 七重・星野 祐司

心理学を学ぶうえで必要な統計的手法と知識を習得させることを目的として演習的な講義を行う。

心理統計Ⅰは、Ⅱへの前段階としてデータのまとめ方、基本的な統計値の算出の仕方など、記述統計を中心に授業を行う。受講生は学期始めに電卓（機種は学科で指定、生協で販売）を購入し、授業時はそれを使用する。

## 心理統計Ⅱ

金子 尚弘・星野 祐司

心理統計Ⅰで学んだ基礎的な記述統計学の知識を土台として、実際に心理学研究に用いられている統計的分析の方法を、その考え方、適用する時の条件、計算の方法を含めて修める。特に実験・調査の標本データの有意差を検定する方法を、実際の数値例を用いて、ほぼ毎日実際に計算し検定することによって学んでいく。ここで学んだ考え方と方法は、心理学を科学的に学ぶ上で非常に重要な技術となることを留意して学ぶことが望ましい。

今日、情報処理という用語はさまざまなレベルで用いられている。工学レベルではコンピュータを駆使した情報の入力、加工、蓄積、伝達およびそれらのプログラム化などを指す。この授業では、工学レベルでの情報処理技術の基礎的な知識を修めると共に、心理学演習や卒業研究のデータ処理やレポート作成に役立つ応用レベルでの情報処理の技術を身につけることを目標として、授業では、パソコンを使っての文書作成を中心に実習を行う。

### 《基礎心理科目》

#### 感覚と知覚

金子 尚 弘

われわれが見たり、聞いたりすることは単に生得的で受動的な事ではない。知覚の後天的で能動的な側面について学ぶために、知覚のメカニズムとその獲得について視知覚を中心に講義する。スライドやビデオ教材を用いて、感覚生理学の知見や、錯覚など知覚現象を実際に目にしながらそのメカニズムについて考えてみる。知覚や行動など基礎心理学の対象に関して全般的な興味を有していることが望ましい。

#### 記憶と思考

荻野 七 重

新しい状況に置かれたとき、人は過去の経験を生かしてその状況を切りぬけなければならない。試行錯誤的に、あるいはあれこれと仮説を立てたり、推理したりする状態がここに生まれる。このような問題場面では、言葉や概念の働きが重要な意味を持ってくる。言葉や概念の獲得と問題場面におけるその利用について、また外部から与えられる刺激（情報）は、どのように記憶され、保持され、利用されるのか（記憶の過程）について、多くの実験例を通して説明する。（教科書使用）

#### 感情と情緒

八 木 孝 彦

本講義は前半部と後半部に大別される。前半部は動機づけが中心。動機づけの主要な4モデル、すなわちホメオスタシスモデル、快楽主義的誘因モデル、認知モデル、そして活動・動機づけモデルについて概説する。後半部の感情については、感情の分類、感情の機能、そして感情の表出について現代心理学の代表的考え方を紹介し、検討する。

#### 社会心理学

倉澤 壽之

人間は社会的動物であり、「他者」の意味するところは大きい。この講義では印象、好意、恋愛、同調、服従、承諾などのトピックを取り上げ、他者との関わりを二つの側面から考えてゆく。すなわち、「他者をどう思うか」という対人認知の側面、「他者からどのような影響を受けるか」という社会的影響の側面である。この講義を通して、他者との間に存在する様々な問題を実験心理学的な視点から捉え直して欲しい。



## 《演習科目》

### 英書講読

林 潔

心理学の比較的易しい英書を読みます。テキストはオーストラリアの高校生用の心理学の教科書です。

テキストはコピーします。

### 情報処理Ⅱ

倉沢 壽之・中西 裕

情報処理Ⅰで学んだ工学レベルでの情報処理技術の基礎的な知識と応用レベルでの文書作成や表計算プログラムを使用する技術とを用いて、更に高度なコンピュータ利用技術を身につける。ここでは別々のプログラムで作成された文書データや数値データを合成したり、他のプログラムで利用できるように技術を身につけ、パソコンを有効に活用できるようにする。

### 心理学研究演習

木津川家久・林 潔・荻野七重・  
金子尚弘・多喜乃亮介・倉澤壽之

心理学研究演習は2年次後期の卒業研究につながる科目である。指導担当教員があらかじめ提示した演習のテーマの1つを選び、その指導教員の指導を受けて、原則として共同で研究をすすめて行くものである。

実験、調査、生理心理的測定テスト、文献研究など研究目的に応じたものとなる。

なお、提示した1つのテーマを希望する人が多い場合には他のテーマに変わることもある。

### 心理学研究法A

川島 真・三浦和夫・若山隆良・坂田成輝

### 心理学研究法B

多喜乃亮介・倉澤壽之・鈴木牧彦・寺田雅英

心理学研究法A、およびBは心理学の基礎的研究や応用にあって必要な特定の技法を習得することを目的としている。測定器具を用いる研究法やコンピュータの技法などを選択して指導を受けることになる。

なお、前期に心理学研究法A（又はB）を選択した場合は後期に心理学研究法B（又はA）を選択することになる。

## 《応用心理科目》

### 精神生理学

多喜乃 亮 介

ものを見たり、感じたりする背景にどのような生理的な反応があるのか、あるいは、生理的な反応を記録することでどのような心の動きを知ることができるのか、など心と体の関係について考えていきます。研究方法、測定法、実験例を中心として、感覚、知覚、運動、情動、意識水準（覚醒水準）などについて、整理学的な指標を用いることによって、どのような側面が明らかになってくるのかを見ていきます。

### 心理検査法

木津川 家 久

心理検査一般の基本的な特徴、効用性と限界、利用上の留意点、心理検査者の資質と倫理など心理検査を利用する際に必要な知識を獲得できるように講義した後、代表的な投影法の技法、とくにロールシャッハ・テストの実施法と解釈法を講義する。

単位取得にはロールシャッハ・テストの実施（自分自身が反応するか、他者に実施する）を条件とする。

### カウンセリング

林 潔

今日のカウンセリングの分野について大きな影響を与えている。Rogersの考え方を中心に紹介します。

相談に来た人の「成長の力」を信頼し、その人の主体性を徹底して重んじる方法は、戦後の相談の分野に強い影響を与え今日に至っています。時間があればその他の立場についても紹介します。

教科書：内山、高野、田畑「講座サイコセラピーⅠ カウンセリング」

日本文化科学社

### 行動療法

林 潔

人間の行動を学習の結果として理解するのが、心理学の学習理論です。行動療法はこの考え方を臨床の分野に応用しようとする試みで、わが国では昭和40年頃から盛んになって来ました。また最近では「認知的行動療法」と呼ばれる分野も盛んになっています。

この時間では事例を中心に勉強して行きます。

参考書は「カウンセリング」と同じです。

## 臨床心理学

中村 延江

概要：ストレス性疾患、特に心身症に対する臨床心理の立場と役割の実際及び全人的アプローチとしての臨床心理の意義

内容：心理臨床の領域、ストレス状態が引き起こす不適応症状、ストレス性疾患と心身症、疾患に及ぼす家族、母子関係の影響、健康心理学的視点、全人的アプローチ、心理的テストとアセスメント及び心理的アプローチの方法、具体的心理的技法の臨床的応用の仕方についての理論的講義と体験、臨床的ケースの呈示と検討。

## 健康心理

八木 孝彦

健康心理学はまだ若い学問領域である。したがって、まず現在一般的な定義を説明し、その歴史、領域、諸理論について概説を行う。

後半部では、バイオフィードバックや自律訓練法などの方法や、最近注目されてきた東洋行法についても解説を加える予定である。

## 障害児心理学

山田 寿子

心身障害児の指導を行うためには、心身障害児の心理的基礎を十分に明らかにすることが必要不可欠である。また、障害児の心理・発達を理解することは、健常児の心理・発達をより理解することに通ずる。最初に心身障害児の心理学の意義と目的を明らかにし、障害のとらえ方を整理し、障害児の心理・指導を明確化する。次に各論として精神発達遅滞・自閉性障害・脳性麻痺・聴覚障害・言語障害の概念及び発達とその指導について述べる。

## 交流分析

林 潔

精神分析を易しくしたものが、交流分析です。

日常生活での自分の出し方、他の人とのコミュニケーションの仕方には良かれ悪しかれ、その人の特徴があります。そのいわばクセを知って対人関係に役立てようというのが交流分析です。VTRを使って授業を進めます。

参考：内山、高野監修「交流分析」日本文化科学社

## 児童相談

木津川 家久

児童相談の歴史を概説した後、児童相談の事例について課題を与え、これに解答してもらう形式で授業をすすめる。授業内容は子供の知能・性格と家庭環境等の診断を主とするものと、育児や家庭教育・学校教育の相談を主とするものに分けられるが、診断から相談・治療までを含む事例も考察する。なお、この授業の中で遊戯療法と関連づけてRogers, C.R.の性格理論を解説する。授業中の課題に対する解答と期末レポートで評価する。

## 心理学特講 I

林 潔

—心理療法—

箱庭療法のいわば応用編でコラージュ療法というのがあります。切り絵を使う芸術療法の一種です。

前半はこのコラージュ療法をみんなでやってみます。

後半はアイビイのマイクロ・カウンセリングを紹介します。

## 心理学特講 II

伊藤 典幸

本講では、「応用」という観点から心理学を概観していく。

これまでに、実社会において心理学がいかに役立ってきたか、あるいは、役立っているかを、「産業心理学」、「環境心理学」、「交通心理学」といった心理学の応用各分野から分かりやすい具体例を紹介しながら解説していく。

## 《医学系科目》

### 心身医学

大賀 達雄

病気を見るのではなく、病気を持つ人間を見ていく「全人的な医療としての心身医学」は、現代医療の最先端を目指しています。人間の心と体の結び付きは、とても密接なものです。心身医学の基本である心身の相関の考えや、ストレスがどのように体の症状となって出てくるのか、実際の心身症状、また治療の基本となる考えなどについて、とりあげます。具体的な例を通して心身医学的な症例の見方や、治療の実際にも触れていく予定です。

### 精神衛生

青田 洋一

現代精神医学の基礎的知識を習得し、精神障害に対する誤解・偏見をとくこと。さらに、その知識を日常生活において役立てていけること。それを目標にかかげて、講義をすすめていきたい。

## 精神医学

青田 洋一

症例や社会問題における精神医学的検討を通して、精神医学的な見方・考え方ができるようになること。たとえば、「気違い」や「狂気」などの言葉にかえて、「精神分裂病」や「躁うつ病」という用語で理解・表現できる、新しい視野を身につけること。それを目標にかかげて、講義をすすめていきたい。

### 《卒業研究》

木津川家久・林 潔・荻野七重  
金子尚弘・多喜乃亮介・倉澤壽之

心理学演習Ⅰ・Ⅱおよび心理学研究演習までに学習したものを基礎にして共同研究をおこなう。担当指導教員・テーマは原則として心理学研究演習と同じで、その研究を発展させ、統計処理等を含め研究レポートの作成にあたる。

研究の結果を12月中旬発表会で発表する。

## 《文学系科目》

### 日本文学史（古 代）

久保木 壽 子

言うまでもなく「文学史」とは、作品・作者名を暗記するものではない。この講座は、文学の発生期から平安時代末までの文学作品—「古事記」「竹取物語」「源氏物語」「今昔物語集」などの主として散文作品—を、適宜とりあげ読むことによって、古代文学の特質について考え、その展開の様相を見ていくことにしたい。できれば「日本文学（古代）」と併せて受講してほしい。

### 日本文学史（近・現代）

栗 田 廣 美

明治以後、大正、昭和（戦前）までを中心に、日本近代文学の歩みをたどる。特に、問題の多い大作家と、その代表作をとりあげながら、近・現代文学の展開をあとづける。「文学」の魅力にふれてもらいたい。

受講生には、言うまでもなく、旺盛な読書が要求される。指定された作品は、必ず読んで来ること。

### 日本文学（中・近世）

東 喜 望

文学研究の基礎は作品研究にあるといわれている。この授業では、日本の中・近世の代表的な作品を精密に読み味わうことに主眼をおき、受講者がそれぞれの作品について、自らの作品論をうち立てられるように、作品分析や研究方法の基礎についてもふれていきたい。出席を重視する。

前期は、原本（嵯峨本）の影印本を用いて『方丈記』を講読し、後期は、近松の『心中天の網島』をとりあげる。

### 国 語 学

野 本 秀 雄

私たちの日本語がどんな性質を持ち、他国語とどんな違いを持っているのか、また、古代から現代に向かってどのような変化をとげてきたのか、—そうしたことを音韻・文字・語彙・文法などの分野にわたって研究する。

従って国語学は、国文の研究（古典文学・近代文学を問わず）にとって、また国語科教師になる場合にも、基本的に必要とする学問の一つである。

## 国語表現法

栗田 廣美

「国語表現法」とは、「日本語で自己表現する方法」という意味なのだろう。「社会生活に役立つ」という観点からの作文指導は、全く期待しないでほしい。むしろ逆に、場合によっては「全社会を敵にまわしても」表現せずにはいられぬ「自己表現 (= 自己認識)」とは何か、という問題に極力触れて行きたい。このような観点から文学作品を大いに読み、「表現」について考えたい。また(短文を)大いに書いてもらおうつもりでもある

## 国語表現法

丸尾 寿郎

文章を「書く」うえで大切なことは、上手下手でもなく技法でもない。平生の生活で、いかにものごとをよく見つめ、考え、感じるかが根本である。だから「書く」ことは、そのような生活をつくり自己を育てる契機ともなり得る。本講座では、実際に「書く」こと、批評することを通して、自己を育てる文章表現の力がつくようにしていきたい。

## 国語表現法

野本 秀雄

文章を書くことは、自分の考えを表現するだけでなく、書く過程で自分の考えを整理しつつ確かなものにし、更に新しく発展させていくことである。

したがってこの講座では、文章を書く実習の中で文章の書き方を自ら体得していく実践が中心となる。また、各自の文章を皆で批評し合い更に推敲して、互に高め合っていく相互学習も行う。

## 《歴史系科目》

### 史学概論

西村 汎子

歴史学を学んでゆく上での方法上の諸問題について学ぶ講義である。歴史学とは何か、歴史の発展段階、歴史発展の基本法則と特殊性、歴史における偶然性と必然性、人間の意識や行動が果す役割などについて、できるだけ具体的な事実に即して考えてみたい。

### 史料講読

平賀 明彦

日本の近代の政治や社会の様子を伝える公式文書や、個人の日記、書簡、あるいは当時の人々の様子を伝える調査記録などを題材にして、史料の中に息づいている時代の息吹を感じとりながら、歴史的な文書から具体的な歴史事実に迫っていく方法をさぐっていきます。取り扱う史料については追ってお知らせします。

## 史料講読

齋藤 善之

本講義では江戸時代(近世)の古文書の解説をおこなう。近世文書は墨で書かれているが、その書体は御家流(おいえりゅう)と呼ばれ、琉球(沖縄)から松前(北海道)まで同じ書体に統一されていたことに特色がある。ここでは庶民の書簡(手紙)を素材として、古文書(コピー)をじかに講読し、古文書読解力を養うとともに、当時の人々の感性や文化様式などについても考察したい。

## 史料講読

久保 健一郎

日本の主として中世後期の法制関係の資料を題材にします。法制関係といっても取り扱う際にはその枠組に限定されず、当時の諸階層の人々の生活・慣習・思想等をできるだけ幅広く読みとっていく方法を追及していきます。具体的なテキスト等については追ってお知らせします。

## 日本古代史(考古学を含む)

大町 健

日本古代の人々の生活を復元することを内容とする。わけでも“村落”“ムラ”を媒介として考えていくことにする。その場合、古代の人々の生活を知ることとはどうして可能なのかという史料論をもう一つの視点としたい。時代としては奈良時代を中心とするので、史料としては、『続日本紀』『正倉院文書』等、さらに考古学の成果も取り上げたいと考えている。

## 日本美術史

稲木 吉一

日本の美術は近世以前においては仏教美術を母胎に形成・発展してきた。授業では主に古代から近世に至る仏像彫刻をとりあげ、彫刻様式の流れと共に周辺の文化事象について概観する。

## 《国際系科目》

### 言語学

篠崎 晃一

人間の社会や文化と密接な関係を持ち、思考、伝達に重要な機能を果たしている言語について、具体言語の事例を参照しつつ概観する。言語の根本原理から音韻論・形態論・意味論などの諸部門まで、ひと通り言語学の基本的知識に触れるように心掛ける。併せて英語と日本語を比較・対照して当該言語による思考形式の特性についても考える。なお、テキストおよび参考文献は開講時に指示する。

## 英書講読 I

田中安行

現代英語による文学作品、童話、エッセイなどを取り上げて、基本的な語彙や構文をおさえながら、大きな物語の流れ、登場人物や作者の心理などをしっかり掴んでいく読み方に慣れる。速読をめざした精読にしたい。様々な作品によって英語文化の中にあるユーモア感覚に触れていければと願っている。毎週、時事英語や英語の詩を読んで、広い英語の世界を体験していきたい。

## 英書講読 I

中島好伸

アメリカ文学の短編を精読する。文学作品だけに少々難しい文も出てくるが辞書を細かく引く習慣を身に付け、英文を正確に読む練習をする。必ず予習が必要である。テキストは未定。

## 英作文

田中安行

基本的な英語表現に慣れることから自由な自己表現能力の習得を目指す。グローバル時代に役立つように、文字だけでなく音声による表現も重視する。単なる日本語の英語への移し替えでなく、一つの表現にも様々な方法と様々な背景がありことを日英の文化の違いを通して学びたい。学生の感性、バイタリティ、創造性を十分に発揮できる場にしたいので自分の言葉と行動力をもって積極的に参加してほしい。

## 英作文

ハベル清子

外国語の習得は自分の言いたいことを自分のコトバで伝え、相手にわかってもらう時に起こるといふ。教師がこの文章のパターンでこういうことを言えと教えても習得にはつながらないという。私はこの考え方にそって、各自の書く練習のお手伝いをしたい。辞書よりも、自分の言いたいことをたくさん、そしてそれを公にする少しの勇気をクラスに持って来て欲しい。

## 英会話 I

オーコーチ・リサ

This course will introduce the application of popular english through drama skits and pairwork activities. stress will be on self-expression rather than grammatical excercises.

## 英会話 I

スワン, ウイリアム ローレンス

このクラスでは、学生がすでに習った文法、言葉の知識を土台にして会話が進められるように指導していき、いろいろな分野で使われる言葉の領域も広げて行く。このクラスでは英語を使ってのコミュニケーションに重点をおき、文法にはそれほど力点を置かない。話したり、聞いたりする力を身に付けさせるために、対話の練習、スキット作り、テープの聞き取りをする。

成績の基準はクラスでどれだけ積極的に参加するか、中間と期末試験（ドラマ作り）をもとにつける。

## 英文法

寺地功次

高校までに習ったが、なかなか身につけていないような基礎的文法事項を重点的に学習し直し、実践的に活用できるようにすることが目的である。授業での解説、演習に加え、多くの基礎的構文や表現を覚えてもらう。基礎を確立せずに先へ進んでも時間の無駄となるので、各自が単元ごとに一定のレベルに達しなければ、何度でも繰り返して学習してもらう。従って、理解できないところがあれば、必ず質問することが大切である。

## LL (発音法・聴取り)

ハベル清子

日本語にもある音も含めて、英語の子音・母音ひとつひとつを聞きわけ、また自分で再現出来るようにする。自然な英語の聞きとりのために、縮約形そして弱化系、強勢と音調もやる。カセット・テープは2~3本必要。カセット・プレーヤーも自宅にある方が良い。試験は実際に自分が発音した単語や文章をふきこんだテープを提出するので、はずかしがらずに教えられた様に口を開けたり、舌を動かしたりすることが大切である。

## 《社会系科目》

### 民俗学

小林梅次

民俗学の特色、特に他の社会科学と異なる方法論より解き、民俗学の視点から日本人の心に照明を当てたい。身近な生活面を民俗学の観点から改めて問い直し、内省の学としての意義を認識させたい。

多少でも調査実習を試み、ビデオを利用し講義内容の具体化をはかり、理解を高めるようにしたい。

## 日本経済史

富永 静枝

日本経済の現状を正しく把握するためには、まず日本経済をその歴史の流れの中で構造的にとらえることが必要である。そこでこの講義では、資本主義が典型的に発展したヨーロッパ諸国と対比しながら、日本における資本主義の発達過程を明治維新前後から第二次世界大戦後における経済復興の時期までについてふれる予定である。

## 《外国語科目》 (文学コース・社会コース開講科目)

### 基礎英語

ハベル清子・森田真澄・藤田久美子・清野茂子

少数クラス編成(25名前後)。授業は原則として英語で行われる。基本的な発音・語彙・慣用句・文法などの知識を整理統合し、反覆練習することによって、英語を実際に活用できるようにすることを目的とする。従ってクラスではDrillに重きを置く。予習も必要だが、復習に十二分の力をそそぐこと。出席最重要視科目で通年必修。

## 《特設科目》

### 情報処理 (演習を含む)

宮武 直樹

本講義の目標は、コンピュータを学習の道具として活用できるような力を培い、情報社会に対応できる素養を身につけることにある。

コンピュータに慣れ親しむために、日本語ワープロの学習から入り、さまざまなソフトを使ってコンピュータを使いこなせるようにする。演習では文書作成、データベースの構築、グラフや図形の作成、CAIの作成などを行う予定である。また、簡単なハードに関する講義も行う。

### 英文タイプ・ワープロ

正木 徑子

情報化・国際化の現代社会に於ては、各種OA機器による事務処理の適確・迅速さが要求される。それに対応できる様に、先づタッチメソッドを完全に習得し、次にワープロの多岐にわたる機能を理解した上、各種英文ビジネス文書等を印書化するのに必要な基本的知識を身につける。

## 《教養演習 I》(ゼミナール)

専任教員

神道 明子

(必修) 通年

下記のようなゼミがある。それぞれのゼミは10名から15名程度で構成し、学生の報告・討論などをもとにして個別研究や共同研究を行ないながら、学生の自主的な研究をめざす。

また、研究をより豊かで確かなものにするために、実地調査や見学などを行う場合もある。

### ○「平家物語」を読む。

東 喜望

源氏の側から木曾義仲を、平家の側から安徳天皇や重盛をとりあげ、その生涯をたどりながら、12世紀末、列島を二分した戦乱「源平の合戦」の意義を考察する。古文書や地誌などの史料も駆使しながら文学形象の虚実を明かしたい。またフィールドワークを行う。

### ○近代日本の小説 (有島武郎を中心に)

栗田 廣美

明治・大正・昭和初期の文学を、小説を中心に大量に読んでもらうことになる。何よりも、「読む」ことが好きでなければならない。「文学」という芸術を研究するためには、何よりも「読む」ことが前提だ。次が、読んだ作品について、考え、語ること。その次が書くこと。

有島武郎研究を一つの軸とはするが、実際にはもっとはば広く、日本の近代小説を読み「文学」を考えたい。「読書好き、文学好き、芸術好き」な学生であることが強く求められる。

### ○「源氏物語」(I)

久保木 壽子

現代において、なお多様なアプローチの方法を要求してくる『源氏物語』を取りあげる。(I)では、予言通りに榮雅を極めた理想の主人公光源氏が、光を失って退場していく幻巻までを取りあげる。

予言はどう実現されるのか、なぜ源氏は光を失うのか、平安という時代状況の中に作品を置いて、その主題・構造について一緒に考えてみたい。

意欲的な参加を期待。テキスト等後日指示。

○現代女性論(Ⅰ)―家族・家庭のあり方について― 富永静枝

あなたは「真に豊かに生きる」とはどういうことか考えたことがありますか。いま女性のライフサイクルは大きく変化し、女性の生き方も多様化しています。そこでこのゼミでは女性をめぐる社会的状況の変化を正しく把握し、女性としての望ましい生き方を模索するために、各ライフステージごとにどのような問題があるか、家族や家庭のあり方について検討し、21世紀に生きる男女のあり方について考えます。活発な討論を期待しています。

○日本女性史(Ⅰ) 西村汎子

女性の地位と役割を考える上で、婚姻および家族のあり方は深い関係がある。『日本女性史』を読んで、原始から現代に至る婚姻および家族の状況がどのようなであったかを、日記・古典・小説などによって実例を追いつつ、考えてゆきたい。演習開始に当っては、現代の女性たちの現状について、ひととおり調査する予定である。

テキスト：『日本女性史』(角川書店)

○日本近現代史(Ⅰ) 平賀明彦

日本の近・現代史にかんする基本的な文献を輪読し、幕末・明治維新以降の日本社会についてのイメージを豊富化することをめざしていきたい。そのなかで、個々のゼミ員が、自分なりのテーマをみつけ、さらに深く追究するための下ごしらえをしていく。取り上げる題材等についてはゼミが成立したところで相談して決めたい。

○英米文学の中の子ども 田中安行

英米文学の中で子どもが登場する作品を中心に、それぞれの社会的背景及び子どもの問題を考えていくゼミである。広いジャンルの中から子どもたちの姿や生き方をとらえ、現在および未来の子どもについて考える手掛かりにしたい。1年目には原文や翻訳を通して作品に触れ、レポートを書き、担当者に発表してもらいクラスで討論を行う。2年目の卒論のテーマにつながるよう、問題意識をもって参加して欲しい。

○アメリカ合衆国の政治と外交 寺地功次

今年度はふたつの軸を考えている。

第一に、第2次世界大戦後のアメリカの対外関係について学び、激動の戦後国際関係においてアメリカが果たした役割とその功罪を、日本との関係も視野に入れながら考えてみたい。

第二に、新しい大統領のもとでアメリカが直面する問題について、日本などの国内政治や社会との比較を年頭において考察したい。

○アメリカ文学研究Ⅰ 中島好伸

今回のゼミでは、アメリカ黒人の文学について徹底的に研究してみたい。黒人の文学を読む場合、彼らの歴史をしらないことは致命的なので、まずはその歴史を知ることからはじめる。その知識を背景に、黒人文学の翻訳で読めるものから順次読み進め、何編かの短篇については原文でも読んでみよう。歴史と文学がどう関わっているのか、みんなで議論してみたいと思う。

○渡来文化と奈良時代の美術 神道明子

我国では古墳時代以前から、朝鮮と中国の影響を強く受けて文化が発達してきたという状況があるが、仏教伝来のころより大陸文化の流入はいっそう盛んになり、渡来する人々の数も、先進者としての地位も一段と高まっていったと考えられる。日本各地に残るこれら渡来文化の跡をたどりながら、飛鳥・奈良時代に花開いた仏教美術を、我国をとりまく大陸、半島の政治的文化的状況に照らして考えてゆく。演習は各自の研究発表を基本に進めることにする。



# 教養科専門教育科目

2年次

## 《文学系科目》

日本文学史（古 代）

久保木 壽 子

言うまでもなく「文学史」とは、作品・作者名を暗記するものではない。この講座は、文学の発生期から平安時代末までの文学作品―「古事記」「竹取物語」「源氏物語」「今昔物語集」などの主として散文作品―を、適宜とりあげ読むことによって、古代文学の特質について考え、その展開の様相を見ていくことにしたい。できれば「日本文学（古代）」と併せて受講してほしい。

日本文学史（中・近世）

東 喜 望

古代の文学を継承しつつ中世において新たに勃興・発展した文学はどのようなものであったか、そして中世文芸を克服しつつ近世において創造された文学はどのような特質を持っていたか、これらの問いを軸として考察をすすめ封建制の文学の展開を跡づける。

日本文学（古代）

久保木 壽 子

奈良・平安時代の文学作品を講読する通年の講座である。前期は『万葉集』を中心に和歌文学を扱い、後期は『和泉式部日記』を読む予定である。

『万葉集』では、各期の代表的な作品を扱い、時代と和歌の係わりについて考えたい。『和泉式部日記』では、和歌と散文の接点にある当日記を通じて、平安期の女流日記文学成立の必然性について考察する。

日本文学（近・現代）

栗 田 廣 美

近代～現代の日本文学について、小説を中心に講義する。一年次の科目よりも、個々の作品の内部に踏みこんだ内容にしたい。漱石・鴎外・有島を中心にするが、大正末期～昭和の何人かの作家にも、場合によっては触れることにする。

指定された作品を必ず読んで来ることは当然だが、その他にも旺盛な読書を期待したい。

西洋文学思潮

村 山 知 恵

ここ数年世界は大きく揺れ動き、私達ももはや日本の事だけ考える訳にはいなくなりました。こんな時だからこそ、世界の歴史を、様々な世界の名作をじっくりと読み考えることによって把握できていたら、良いのではないかと思います。短期間ではありますが、3～4作品を時代背景などを考えながら一緒に読み味わい、私達の未来への考え方をまとめて行きたいと思います。

漢 文 学

東 喜 望

中国古典文学の代表的な作品を精読し、作品の背景にある中国の思想や文化、歴史などについても理解を深める。

作品は、日本の文学にも影響を及ぼした散文学をとりあげるが、まず下記を精読することからはじめたい。

鄭還古『杜子春伝』・瞿佑『剪灯新話』

現代言語生活論

谷 口 勝 三

言語表現の特質を、絵画表現などとの比較において考えていく。さらに、日常言語・文学言語・理論言語のそれぞれの特徴を、実際に文章表現をすることによって、考えていく。また時間が許せば、小説・詩などを言語の美の問題としてとらえていく方法論について講義する。

書 道 I

神 野 雄 二

悠久の歴史を持つ書は、古代から現代に至る人間の直截な生命の表現といえる。このたしかに“形”の発生と変遷の跡を探ることは、日本文化の理解につながる。わが国独自の流麗な仮名は、それをみごとに表現したものといえる。本講座においては、中国・日本の名品を可能なかぎり学び、基本的な技法を習得し、またスライドを通し研究鑑賞をする。更に、書と日本文化のかかわり合いをさまざまな角度から説明する。

書 道 II

小 峯 恭 子

書写を中心とする。日本と中国の数多い古典の中から代表的なものをとりあげ、これを参考にしながら漢字と仮名の実習（書写）を行う。まず写実的臨書を、次いで応用の創作を行う。また硬筆（ペン字）も実習する。

## 《歴史系科目》

### 日本中世史

西村 汎子

日本の中世とは、古代の律令社会とも近世の封建社会ともちがうどんな特色を持った社会だったかを考える。当時の支配者たちは、草深い地方や都に住む民衆たちの変化を基礎にどのような支配体制をつくったのか、また、民衆たちは何を考え、どんな生活や文化を生み出し、どうやって自分たちの生活を守っていったのか、できる限り探ってゆきたい。

### 日本近世史

斎藤 善之

近年「江戸学」がブームとなるほど、日本近世史に対する関心が高まっている。これは単なる懐古趣味ではなく、現代の大量消費文明に対する批判の高まりが背景にあるといわれる。たしかに江戸時代は「鎖国」状況の中で限られた資源を活用する方法、技術を生み出し、それを独特の文化様式にまで高めた時代であったといえる。そうした面から、江戸時代の生産・流通・消費および文化の特質について考えてみることにしたい。

### 日本近現代史

平賀 明彦

明治維新以来の日本の「近代化」過程を、明治憲法の枠組みや大正デモクラシー状況、あるいは戦争と民衆などの問題を通して明らかにしていく。また、それらの帰結としての敗戦を契機に出発した戦後社会の特質についても考察を加え、現代社会を理解するためのつながりをさぐっていききたい。資料、参考文献についてはそのつど紹介する。

### 日本文化史

平賀 明彦

開国とその後の文明開化にはじまる近代の文化史の流れを、文化論や日本人論、あるいは、時々の政治・経済状況とのかかわりでその姿を変えるナショナリズムの問題などをてがかりに、時代を追って検証し、現代の文化状況を考えるために有効な歴史的方法をさぐっていききたい。資料、参考文献についてはそのつど紹介する。

### 日本女性史

西村 汎子

現在、女性の地位は高まったとは言え、女性が真に人間らしくその力を発揮して生きるには、なお多くの障害がある。そこで、女性の生活を歴史的にふり返ってみて将来の展望をつかむことは重要であろう。その場合、労働のあり方・

財産権・婚姻形態・家族関係・道徳観などに注目し、その中でたくましく生きた女性たちの生涯についても、できる限りとり上げてみたい。

### 東洋文化史

神道 明子

東洋の美術を考える上で日本や朝鮮半島を含む中国文化圏と、仏教発生の地であるインドの二大文化圏をまず思いうかべるが、もう一つシルクロードの終着点或いは出発点であるメソポタミア・ペルシア、さらにエジプトの美術をも考慮に入れる必要がある。その講義ではこれらの美術の本質にできるだけ近くことを目標にする。また各々の文化の結びつきにも焦点をあてて東洋文化全般を考えてゆくことにする。

### 東洋美術史

神道 明子

日本の美術に深い影響を与えた古代中国美術について、殷・周より唐代までを講義する。前半は近年中国で出土した墳墓の壁画や副葬品等の美術を主とし、後半は敦煌などに今も残る石窟寺院の仏教美術を中心に話を進めてゆく。スライドを使用し、できるだけ視覚にうったえる授業にしたい。

### 西洋史

土浪 博

中世ヨーロッパ社会について論じる。いちおう(1)ヨーロッパ世界の成立(概説)(2)実力社会としての中世(政治秩序)(3)農村と都市(共同体の形成)という構成を予定している(主たる対象はドイツ)。テキストなし。講義中にプリントを配布する。前提知識は特に必要ないが、心配な人は世界史の概説書の西洋中世に関する部分を読んでおくとよい。

## 《国際系科目》

### 英書講読Ⅱ

江坂 由紀子

中学・高校時代に身についたらしい、機械的に英語から日本語に置き変える、いわゆる訳から脱却して、英文を英文として内容が把握できるように努めて欲しい。ことばの意味は文脈で決まります。丹念に大きい辞書をひいて十分に下調べをすること。ときには辞書をひかないで数章読んで大体の内容を掴んでから辞書をひいて下さい。原書を読む喜びを感じるようになることを目的とします。

### 英書講読Ⅱ

寺地 功次

前年の学習を基礎に、より高度な英文を読みこなせるような総合的読解力を身につけることを目的とする。最初は平易な題材を扱うが、本だけでなく、雑

誌や新聞なども含め、様々な内容、難しさの英文も取り上げていく予定である。

辞書を丹念に引くことはもちろん、幅広い知識、想像力を駆使して英文を読めるようになってもらいたい。

#### 英語演習 A

寺地 功次

日常会話やごくふつうの書き言葉において使われる基礎的な構文・表現を習得し、応用できる力を身につけることを目的とする。受講者の人数にもよるが、文法・作文的な要素だけでなく、速読・多読的な内容も取り入れて、総合的な読解力、表現力を養うことができるような授業としたい。

できれば、単語、イディオム、慣用表現の勉強も取り入れたいと考えている。

#### 英語演習 B

中島 好伸

未知な英語の文章をその場で読んで理解できるようにし、短時間の内に多くの英文を読み込むことで英語の情報をより多く身につけることを目的とする。まずは独習によりある程度の語彙を身につけてもらい、授業の中では、毎回新しい英語の文章を読む。語彙の少ないものから多いものへ、短いものから長いものへ発展させながら、エッセイや新聞の記事、ショート・ショート等を読んできゆく予定。

#### 英会話 II

オーコーチ・リサ

Further development of conversational english through drama will be emphasized. Students will be encouraged to come up with their own unique ideas for skits as well.

#### 英会話 II

スワン、ウィリアム ローレンス

このクラスでは、学生がすでに習った文法、言葉の知識を土台にして会話が進められるように指導していき、いろいろな分野で使われる言葉の領域も広げて行く。このクラスでは英語を使つてのコミュニケーションに重点をおき、文法にはそれほど力点を置かない。話したり、聞いたりする力を身に付けさせるために、対話の練習、スキット作り、テープの聞き取りをする。

成績の基準はクラスでどれだけ積極的に参加するか、中間と期末試験（ドラマ作り）をもとにつける。

#### 独書講読

正路 妙子

平易な読物を中心に歴史、文化の紹介をしながら、ドイツ的な思考法とその表現形式を辿りつつ、日常的な事柄をドイツ語で表現する練習を重ねていきたい。そうした作業を通して、ドイツ語で読むことの楽しさを味わって頂きたいと思う。

#### 仏書講読

村山 知恵

一年生の時に学んだ初級の文法を復習しながら、サン・テクチュベリの「星の王子さま」をじっくりと読み、楽しみながら、そこに溢れるフランスの文化、思想、歴史と一緒に考えていきたいと思っています。

#### アジア・アフリカ文化

三富 正隆

異質な文化、歴史を有する地域の地誌について認識を深めることは、単にその地域の特質と歴史への知識を得ることにとどまらず、それまで我々が持っていた価値観を揺がし、「文化相対主義」の視座を育ませるきっかけともなる。そこで本講は、近年関心を集めつつあるが、あまり知られることの少ないサハラ以南のアフリカをとりあげ、その文化や社会の特色について概観していくことにする。

#### 比較文化論

早川 紀代

人間の性をめぐるいろいろな問題、女性たちの恋愛の自由や避妊、中絶の自由を求める動き、男性たちの動き、国の人口政策の歴史、生殖技術の発展と人間の性の関係などを20世紀を中心に、イギリス、ドイツ、アメリカ、日本の事例をとりあげて、考えます。とくに戦争（第二次世界大戦）の時期に、人間の性はどんなふうに関によってとりあつかわれたかということに重点をおきたいと思っています。（主として講義）

#### 英米文学

中島 好伸

以下に掲げるアメリカ作家について、一時間につき一人ずつその人生と代表作並びに時代背景を講義し、アメリカ文学の特質を引き出しながらその魅力を味わってみたい。受講生諸君には、前持って所定の作品を読んでもらい、最終講義までに5枚のレポートを提出してもらおう。

取り上げる作家：ベンジャミン・フランクリン、ナサニエル・ホーソーン、ハーマン・メルヴィル、マーク・トウェイン、ジャック・ロンドン、セオドア・

ドライサー、F・S・フィッツジェラルド、アーネスト・ヘミングウェイ、ジョン・スタインベック、リチャード・ライト、J・D・サリンジャー、バーナード・マラマッド

### 国際関係論

平井文子

中東をめぐる国際関係を学びます。中東とは、東はアフガニスタンから西はモーリタニアに至る広大な地域を指しますが、そこには古くから多様な民族と多様な文化が息づいています。今日の中東は、戦争と平和の問題、民族問題、宗教問題、石油問題等現代世界がかかえる深刻な諸問題と深くかかわっています。今年は、①パレスチナ問題、②中東新秩序の2つを軸に、歴史的視点を重視しながら講義をすすめます。

### 国際経済論

### 社会思想史

針谷 寛

西欧近代社会の特質を考えてゆく手がかりとして、ヨーロッパ社会思想史における「市民社会」概念の変遷をたどり、また西欧の「都市市民」像についても検討する。理論的には、カント、ヘーゲルなどドイツ近代の思想家の社会理論を重点的にとりあげる予定である。

テキストは使用しない。時おりプリントを配布する。参考文献は講義のなかで紹介する。

### 国際関係論

平井文子

中東をめぐる国際関係を学びます。中東とは、東はアフガニスタンから西はモーリタニアに至る広大な地域を指しますが、そこには古くから多様な民族と多様な文化が息づいています。今日の中東は、戦争と平和の問題、民族問題、宗教問題、石油問題等現代世界がかかえる深刻な諸問題と深くかかわっています。今年は、①パレスチナ問題、②中東新秩序の2つを軸に、歴史的視点を重視

より、詳しく知る事が出来たと思います。進化の道を魚を例にした事で二つに分けられる事ができて理解し易くなった。脊椎動物の繁殖様式の進化の特徴や土は生きている、牛の餌の事など、身近な事が多かったので関心も持ち易く講義を受けられたと思います』であった。今年もこんな講義を試みたい。

#### 自然科学史

柳下 登

かつて人間は自然に従属していたが、それから独立し、それを支配する関係を成立させてきた。その過程で、人間は自然を知り、自己を変革し、より人間らしい人間になってきた。そして今日では自然との調和を模索している。この講義は今までの科学史とはちがって、人間と自然との関係の史的考察に視点を置き、自然との調和への光明を見出したい。内容は、人間と道具の発見、人間と火の発見、人間と農耕の起り、人間と地動説、人間とニュートン力学、人間と「種の起源」、人間と生命工学（遺伝子工学）など。なお、世界最古の紙「パピルス」紙の製作を実習としておこなう。

#### 科学技術論

高田 峰雄

過去45年間で日本の経済発展は世界史上の「奇蹟」といわれているが、これを可能にした有力な要因の一つとして技術革新をあげることができよう。

「奇蹟」は確かに輝かしいものであったが、それは同時に暗部をも伴って今日に至っている。このようななかで、現在進行中の技術革新について、その明暗の両側面から検討してみるのも意味があるろう。

#### 《外国語科目》（文学コース・社会コース開講科目）

##### 英書講読

田中安行・藤田久美子・ハベル清子・小古間基一

簡潔で、わかり易い現代英語で書かれた随筆、評論、或いは文学作品を精読する。語いをふやし、読解力を養いたい。それには徹底的に辞書をひく習慣を身につけ、辞書の使い方を体得して欲しい。

テキストは未定。

##### 英会話

オーコーチ、リサ

All students are to actively participate in various conversational activities based on drama skits. Emphasis is on self expression and not on reading or writing.

##### 英会話

スワン、ウイリアム ローレンス

このクラスでは、学生がすでに習った文法、言葉の知識を土台にして会話が進められるように指導していき、いろいろな分野で使われる言葉の領域も広げて行く。このクラスでは英語を使ってのコミュニケーションに重点をおき、文法にはそれほど力点を置かない。話したり、聞いたりする力を身に付けさせるために、対話の練習、スキット作り、テープの聞き取りをする。

成績の基準はクラスでどれだけ積極的に参加するか、中間と期末試験（ドラマ作り）をもとにつける。

##### 独書講読

正路 妙子

平易な読物を中心に歴史、文化の紹介をしながら、ドイツ的な思考法とその表現形式を辿りつつ、日常的な事柄をドイツ語で表現する練習を重ねていきたい。そうした作業を通して、ドイツ語で読むことの楽しさを味わって頂きたいと思う。

##### 仏書講読

村山 知恵

一年生の時に学んだ初級の文法を復習しながら、サン・テクチュベリの「星の王子さま」をじっくりと読み、楽しみながら、そこに溢れるフランスの文化、思想、歴史と一緒に考えていきたいと思ひます。

#### 《教養演習Ⅱ》（ゼミナール）

専任教員

江坂由紀子・神道 明子

（必）通年

1年次の「教養演習Ⅰ」の学習を踏まえて、これをさらに発展させた研究を行なう。また、前期には、各ゼミごとに数日にわたる「学外演習」を行なう。これは、ゼミのテーマに沿って実地調査や見学を行なうもので、研究の深化・正確化を図るためである。

##### ○海と列島の説話—為朝伝承

東 喜望

昨年の研究成果を継承しつつ、本年は特に、近世期において、保元の乱に敗れた崇徳院や源為朝が、どのように文芸作品に形象され、また各地域（特に離島）で語られているか、などの問題を考究する。歴史資料も駆使しながら多角的に考察を加えたい。ゼミ成員の一層の努力と協力をうながしたい。

○有島武郎研究

栗田 廣美

1年次に奮闘努力した成果をふまえ、いよいよ「研究的」に読む訓練に入る。意気高らかに、がんばろう。

○『源氏物語』(Ⅱ)

久保木 壽子

前年に引き続き『源氏物語』を取りあげる。これまでのところから、この作品の大よその構造は把握しえたものと思う。(Ⅱ)では、昔物語的な構想を脱し、人物相互の関係から必然的に作品が展開していくと言われる、第二部若菜以降を重点的に読んでいく。前年以上に、課題をこなす必要があるし、その中で自分なりにこの作品に対する問題意識を深めていって欲しい。

○現代女性論(Ⅱ)ー女性と職業、家族・家庭ー

富永 静枝

前年度に引き続き家族・家庭のあり方について学習すると同時に、2年次では特に女性と職業について学習を深めます。現代女性のおかれている状況を正しく認識し、問題解決の方向を探るために調査や見学なども行います。

○日本女性史(Ⅱ)

西村 汎子

前年度に引き続き、『日本女性史』(角川書店)を読みすすめるとともに、現代まで続く日本の家族関係の問題点や現代の課題などを明らかにしていきたい。

○日本近現代史(Ⅱ)

平賀 明彦

1年次で修得した日本の近・現代に関する基本的な理解を基礎にして、個々のテーマをよりクリアーにしていくための作業を蓄積していく。後半では、ゼミ員それぞれが個別のテーマについて報告を積み重ね、相互に批判しあう中で問題点を煮詰めていく作業を行うことが課題となる。

○国際関係論

寺地 功次

現在の国際社会がかかえる問題や、国家間、地域間や地域内の関係を、日本とアメリカ、日本とアジアといった観点を中心に様々な形で考えて行きたい。

また、国際関係だけでなく、比較政治的な観点からも、日本や他の国々の国内政治や社会における様々な問題も考察したいと考えている。

○アメリカ文学研究Ⅱ

中島 好伸

1年次ではアメリカ文学の総体を概観したが、その歴史的な流れを念頭に置きながら、具体的な作家論へと進みたい。まず、できるだけ早い時期に取り上

げる作家の代表作品(翻訳のないものは英語で!)を読破し、続いて自伝や伝記、論文等を数多く読み、作家の全体像を捉えて行く。膨大な読書を要求するが、この中から文学の方法論を学び取り、卒業レポートに結び付けて欲しい。どの作家を取り上げるかはみんなと相談して決めることにする。

○ことばと文化(Ⅱ)

江坂 由紀子

前年度にひきつづき、日本文化の特長を、英語文化と比較対照しながら考察してゆきます。

前期は、一年後期につづいて「菊と刀」の原書講読と研究。後期は未定。

○渡来文化と奈良時代の美術

神道 明子

飛鳥・奈良時代の美術を中心に、図版スライド等を活用し、具体的に各建築、作品等を検討するとともに、その時代背景、当時の国際状況を考える作業を進めてゆく。また前期はゼミ旅行を前提にしてできるだけ深い理解を目標とする。

『校刊美術史料』寺院編

『東大寺要録』

≪卒業レポート≫

(必)2年

専任教員

江坂由紀子・神道 明子

学生各自が自主的にテーマを決めて作成する。ただし、共同研究も可。枚数は400字30枚以上。所属ゼミでの研究を基礎にすることがのぞましい。

執筆に先だちガイダンスを行ない、その意義や叙述のしかたなど一般的な事柄について指導する。後期はゼミ担当教員が、研究資料の扱い方や研究方法など具体的な事柄について個別に指導する。レポート提出後、例年、発表会を行っている。

## 教養科教職科目

1年次・2年次

### 教育原理

黒田 瑛

初めに教育思想の歴史をたどり人間の発達と社会の観点から教育の目的と方法の原理を明らかにする。次に教育の行われる場（家庭、学校、社会）をとりあげ、それぞれの特徴と、対応する主な教育内容について考える。わが国の現行の教育制度と行政について述べるとともに、今日すすめられている日本及び他の国々の教育改革について内容・方法及び制度にわたって検討し、最後に教育評価の問題を考察する。

### 教育心理

林 潔

人格、教授法、教育評価という教育心理学全般について紹介します。

あわせて、最近の教育の場のいくつかの問題を、心理学の問題としてとらえ、討議して行きたいと思います。

### 道徳教育の研究

黒田 瑛

「道徳」とは何かの考察からはじめ、道徳は、一体、教えられるのか、教えられるとすると、それはどういうことなのかについて考える。次に、子どもの道徳性の発達について、その心理発達の面と現代社会の特性にかかわる面とから考え、今日の中学校における道徳教育の目標、内容、指導計画などについて学ぶ。また、修身教育及び第2次大戦後の我が国の道徳教育の歴史とのかかわりで、現在の学校における道徳教育の諸問題をみることにする。

### 特別活動の研究

黒田 瑛

教育課程全体の中での特別活動の位置と意義を明らかにし、各教科と道徳および生徒指導と特別活動の関連について考える。次に、特別活動の目標と内容および、それらに即した指導計画の作成と展開について述べる。

### 生徒指導の研究

小 貫 栄

学校制度のなかで中学校はどんな位置を占めているか。また中学生の「心と体」はいかなる成長発達の経過をとるのか等をふまえ、主に中学校における「生徒指導」を研究の対象とする。

さらに生徒指導とかかわる「進路指導」「教育相談」の分野についても研究内容とし、「望ましい中学教師像とは何か」についての探求でしめくくる。

### 国語科教育法

野本 秀雄

国語科教育の性格と内容を概説しつつ、現在の国語教育に存在する問題点について考えていく。また、文部省の「国語科指導要領」を読んで、その内容を整理し、かつ、中学校の教科書の教材を用いて、指導の理論と具体的な指導方法について研究し、教育実習に備える学習も行う。

### 教育実習

久保木 壽子

教職諸科目の学習の成果を、実習を通じて実践的に確認し、体得していくのが、「教育実習」である。実習校では、指導教諭他の指導・助言を受けるが、主体的に教材研究・教案作成・授業及び生徒指導に取り組むことが必要である。責任と自覚の下に臨んで欲しい。

実習の詳細については、事前にオリエンテーションを行う。

## 教養科博物館科目

1年次・2年次

### 博物館学

稲木 吉一

今日に至る博物館の歴史や事業（資料の収集、保管、展示、調査研究、教育普及）を概観すると共に、現在の博物館が抱える問題をとりあげながら、これからの博物館のあり方や学芸員の役割について考えてゆきたい。

テキストとして、全国大学博物館学講座協議会関西部会『博物館学概説』を使用する。

### 教育原理

黒田 瑛

初めに教育思想の歴史をたどり人間の発達と社会の観点から教育の目的と方法の原理を明らかにする。次に教育の行われる場（家庭、学校、社会）をとりあげ、それぞれの特徴と、対応する主な教育内容について考える。わが国の現行の教育制度と行政について述べるとともに、今日すすめられている日本及び他の国々の教育改革について内容・方法及び制度にわたって検討し、最後に教育評価の問題を考察する。

### 社会教育概論

藤田 博

社会教育とは何か、生涯教育の構想との関係でその本質を明らかにしたい。

とくに、社会教育がこれまでどのような歴史をたどってきたかに重点をおきながら、社会教育の現状と課題を学習する。

参考書等は教室において指示する。

### 視聴覚教育

南 利明

視聴覚的方法是、コミュニケーション技術の発達とともに多彩となっていた。講義ではまず写真・映画・蓄音機・ラジオ・テレビさらにハイビジョン、コンピューターグラフィックスなどニューメディアにいたるまでの視聴覚史を学習する。そして視聴覚理論の理解促進をはかるために博物館・美術館などの事例を参考にしながら展示解説文をはじめスライド・映画・ビデオテープ・ビデオディスクなど各視聴覚資料の特性、利用法などについて講義する。

### 博物館実習

平賀 明彦・上野 光子

学芸員にとって必要な知識、技術の修得のための実習を行います。1年次では主として、美術品の理解のために美術館見学等を行い、実技として、レプリカ・拓本・裏打・写真撮影・ポスター作成・軸物・茶道具・巻物等の取り扱いを実習します。2年次には、美術館・博物館等の見学実習と、それまで学んだことの集大成として館務実習を行います。



## 専攻科保育専攻専門教育科目

### 《基礎科目》

#### 人間論

田中 未来

まず、人間を、生物として、動物として、さらに人間として把えるための視点をあきらかにし、人間の自由と主体性、および価値の問題を考える。ついで、さまざまな人間観を手がかりにして、自らの人間観を確立するために、文学作品や哲学的な文献の一部を読み、または自分の実生活の体験を話し合っ、それをテーマに討議を行う。そして現代において、人間性を実現するための、保育、教育の役割を論ずる。

テキストは「教育と福祉のための人間論」田中未来（川島書店）

### 《共通科目A》

#### 現代保育論

田中 未来

- 1) 現代の日本の保育—当面する問題
- 2) 現代保育の理念—ヒューマニズムと保育
- 3) 現代の保育における保育者の資質と役割
  - 保育者の資質      ○保育者と子ども
  - 保育者と職場のチーム・ワーク      ○保育者と親
  - 保育者と地域社会
- 4) これからの保育の課題と展望

#### 保育計画論

村田 和子・米山 千恵

保育計画を論じる基盤として、子ども観・人間観・保育観等について考え確かめ合う。今まで身につけた保育に対する意識を十分活用しながら、モデル園の保育計画をもとに、現場の実践にもふれ、理論と実践の統一をめざす。積極的な討議の展開を組みこみながら、保育計画とは何かを学習し、実践の場で具体的計画の立案が構想できるようにしていきたい。担当者の分担は、前半・後半に分け、前半を村田和子が幼稚園における保育計画、後半を米山千恵が保育所における保育計画、についてそれぞれ担当する。

#### 保育環境論

民 秋 言

子どもは、日々具体的な環境の中で生き、成長しています。そういう意味では、子どもは環境と共にある存在だということができます。この講義ではそうしたことをふまえて、子どもにとって環境とは何なのかということを考え、具体的に地域や園の保育環境の在り方を探ってみようと思います。

必要となる文献、資料については講義の中で紹介する。

#### 保育人間関係論

三 沢 英 夫

保育の場は、子どもの親たち、そして保育者仲間との人間関係の場でもある。それが崩れると、子どもの成長・発達も阻害されがちである。特に相手が親の場合は尚更である。保育者は子どもの親から相談を受けたり、親に対する希望も持つが、その関係に苦勞するのが現状である。本講では、心理療法の知見を援用して、相談の受け方の実践的訓練を行ない、これを通して自己理解を深め、良き人間関係の在り様を探っていきたい。

#### 保育研究法

岡本 富郎・都留 民子

保育者が自らの保育を高め深めていくためには、保育の場に存在する、あるいは生起してくる諸問題を、自らの確に把握し対応していくための方法論の確立が不可欠の条件となる。その要求に応ずるための科目が「保育研究法」である。つまり、保育の実践の場における課題や保育をめぐる諸問題をできるだけ幅広く、的確に把握し、その結果を分析し、それを保育の場にフィードバックする方法までを考える。なお、それらと関連して、文献研究の方法をも学ぶ。

#### 保育問題特講

八 木 紘一郎

今日、ここ数十年の間の現代社会のさまざまな変容に伴って、保育に関連する問題や課題についても複雑化し、多様化が進行している。この科目は、そうした社会的、時代的特徴を呈してあらわれる保育に関する多様な現代的側面の問題課題を扱うことによって保育理解を多角的に深めることを意図している。取り上げるテーマは、メディア社会における子どもと保育である。

### 《共通科目B》

#### あそび分析法

土佐林 一

あそびが子どもにとって、重要で不可欠であることは、小学校入学前の子ども達が実に莫大な量のものを学習していることからわかる。どうしてこんな多くのものを比較的短期間に学べるのであろうか。彼らはそれほど体系的な教育や指導もなされていない。本講義はこの「あそび」についての分析的な見方や考え方、または調査する方向で考えてみたい。教科書は、バーバラ・リデック著「障害児のおもちゃとあそび」（土佐林訳）誠信書房

#### 集団保育論

本 吉 圓子

同年齢の子ども、又は異年齢の集団や保育者を核として、ある限られた空間においていきいきと生活する、という意味での集団的保育を考察したい。子ども同士の関係および保育環境と子どもとの関係を軸として、さらに保育者がその関係をどのように援助するのかを考える。

## 小児医学

山登淳伍

乳幼児の身体発育と精神運動機能の発達、栄養の諸問題を認識させ、日常みられる小児疾患の基礎知識、小児の精神発達障害を把握させる。また、母子保健行政組織の現状や、小児の事故と安全教育、疾病の予防、小児保健の統計、身体障害児対策などを含む種々の保健医療対策の概要を理解させ、保健医療従事者と、保育福祉専門職との連携について理解を求める。

## 神経生理学

工藤行夫

人間の行動にとって、脳はどのような役割を果たしているのか。こころと脳とはどのような関係にあるのか。神経系、特に中枢神経系(脳)の基礎的な構造、機能を理解したうえで、精神医学的な知見も加え、脳の働きを共に考える時間としたい。

## 《乳児保育関係科目》

### 生活習慣習得論

伊志嶺美津子・北 郁子

①乳幼児の生活習慣を習得していく過程とその内容について以下の視点から講ずる。子どもの全体像の発育を生活を通して概観する。②日常生活の、もっとも基本となる食事、睡眠、排泄を中心に自立するまでの習慣形成を胎児期、乳児期、幼児期を通して生理学、医学、栄養学、心理学、社会学、保育学の立場でとらえ、保育のあり方を考える。③実習を通して、乳幼児の実態をとらえレポートする。なお、開講にあたっては、前半を全般的な生活習慣について講じ、後半は食生活習慣について講ずる。

### 乳児保育論Ⅰ(母子関係)

今泉岳雄

母子関係論と言うと、母子の二人だけに焦点をあてた研究も多い。しかし、実際には、母子を取り囲む様々な要因が、両者の関係を形成する過程に影響を与えていることに気づく。

夫婦を中心とした家族の関係、母親自身の母性的な体験、妊娠・出産を受け入れる母親の心の準備状態、子供が未熟児や障害児であるための初期の母子分離の問題、兄弟出現による母子関係の変容など、多角的に母子関係を考える場にしたい。

### 乳児保育論Ⅱ(探索活動)

戸田須恵子

乳児の探索活動の発達過程を学習し、発達を促進する要因について考え、その援助の方法を論ずる。

### 乳児保育論Ⅲ(信号・言葉)

佐々加代子

乳幼児の発達助成者としての視点とかかわり方に焦点を当てた構成で、演習をふまえて論を展開する。観察者、実践者として、1人から数名、集団へと広がりをつける。信号行動系の観察表記から瞬時に判断すること、行動への流れを目指している。受講生自身がかわり方の傾向(特質、問題点)を見出すことを期待しており、その問題解決への援助をする。対象乳幼児は障害児を含めて検討する。

### 乳児保育論Ⅳ(表象・想像)

戸田須恵子

乳児期の表象・想像の発達について、理論をふまえながら、その実際の発達過程を学習し、その指導方法・計画について研究する。具体的には、次のとおりである。①表象・想像活動の発達過程の学習、②発達に沿った指導方法の研究、③表象・想像を諸側面(描画・構成・造形・文学・音楽・身体運動)からの検討、及び指導、④総合的指導計画と指導法。

## 《幼児保育関係科目》

### 幼児の保育構造論

岡本富郎

まず、幼稚園、保育所の現状と子どもの現状について講ずる。その後、保育思想家の保育観、子ども観について紹介し、次いで、戦後の保育内容の変遷と、保育構造の必要性及びそれらのことに関連して幼稚園、保育所における保育のあり方を構造論的に講ずる。

### 保育内容研究Ⅰ(自然認識)

近藤正樹

自然事象を対象として知的なインプットの教育法を検討する機会として設定してある。認識と認知との違い・認知の生理学・認知の心理学・イメージのふくらみ方・イメージの整理編集について講義をすすめる。テキストは中沢和子著「幼児の科学教育」(国土社)。

### 保育内容研究Ⅱ(社会認識)

民秋言

子どもの社会的成長(社会的な育ち)を考えると、その過程での課題として、社会性の習得とともに社会事象の認識は欠かせない。子どもがそれを取りまく社会事象(社会的環境)から働きかけられて、また、それに働きかけていくことによって成り立っていることをふまえるなら、子どもはその社会事象(の社会的なしくみやはたらき)をきちんと理解することは大切である。と同

時に、その社会事象の存在が自分たちの生活にとってどんな意味をもつかを子どもが考えることも重要である。本講は、この二つのポイントから子どもの認識活動を検討してみるものである。

#### 保育内容研究Ⅲ（表現①）

志 摩 弘

この時間では、子どもがみずから展開する「表現活動」音声、身ぶり、表情等を通しての基本的「表現」から「もの」を媒介とした「表現」へとすすみ、それにかかわる子どもの発達特徴などもふまえて、さらに保育者自身の「表現」の問題とあわせて、創造的な「表現」の可能性をさぐってみたい。具体的には「みずから演ずる劇」や「人形劇」を演じつつ習得する方法をとることになろう。

#### 保育内容研究Ⅳ（表現②）

八 木 絃一郎

乳幼児がさまざまな物素材を操作して、個人及び共同して多様な造形表現力を習得し、なおかつ拡充していくための活動内容とそのための援助法に関する知識・技能を高めることを学習目的とする。特に、造形表現の系統的順次的な活動内容と、遊びを自主的にする活動との相互関連を持たせた構造的な計画及び実践方法について重点をおく。

#### 保育内容研究Ⅴ（表現③）

小 林 美 実

子どもは、生得的に音楽に対する嗜好を表し、感情等を音楽的に表現するが、そうした生得的活動を、音、リズム、メロディ等のいわゆる音楽の要素、構造を有した表現へと発展させていくための知識・技能を学習させる。

#### 保育内容研究Ⅵ（表現④）

若 松 美 恵 子

乳幼児の身体運動を中心とした表現の発達及び幼児の身体表現力の発達をふまえて、保育者は子どもとの関わりの中で子どもたちが、①感受性が豊かになる、②豊かに表現する、③表現を楽しむ、にはどのような援助、働きかけをすべきか、その指導方法について演習をふまえて論を進める。

#### 保育内容研究Ⅳ（総合活動）

八木絃一郎・前川 吉彦

保育内容・保育方法論としての「総合活動（学習）」について、合科学習及び領域別活動（教科別学習）との関係や構造と結びつけて理解することを主目的にする。また複数の種類の「総合活動（学習）」事例のシュミレーション

的な指導法研究の演習を通して「総合活動」の組織化について実践的且つ「総合的」に理解する。担当者の分担は、前半・後半に分け、前半を八木絃一郎が合科学習及び領域別活動（教科別学習）の理論的側面、後半を前川吉彦が主として幼稚園における総合活動の事例をあげて解説・検討する実践的側面、についてそれぞれ担当する。

#### 《障害児保育関係科目》

##### 統 合 保 育 論

村田保太郎・山崖 俊子

統合保育の在り方及び現在の幼稚園・保育園における障害児の受け入れ方、並びにクラス集団及び職員間の関係の在り方等について具体的な問題を通し、講義・演習等によって考究する。

また、実際に統合保育を実施している園等を訪問し、観察及び実習等を通して統合保育論の実際を経験する機会を持つことも考える。以上の過程の中で障害児の指導・療育及びそのシステムの在り方、保護者等に対する援助について学習する。

##### 精 神 薄 弱 治 療 論

山 田 寿 子

現在、多数の保育機関で統合保育が行われている。障害児を健常児とともに保育することの意義や重要性は理解されつつあるが、現場の保育者のためらい・苦労は未だ大きい。また、障害児を健常児と混合して保育するだけで、障害に合った適切な保育がなされなければ保育の効果はない。本講義では、精神発達遅滞を中心に障害児及び障害のとらえ方を整理し、精神発達遅滞児の保育・指導方法について具体的に述べる。

##### 運 動 療 育 論

南 雲 直 二

1. 障害の基本概念を理解する。例えば、疾病と障害の区別、障害の3層構造。
2. 脳性マヒ、筋ジストロフィー、脊髄損傷など代表的な運動障害を取りあげ、原因、症状、予後などについての基礎的な知識を習得する。
3. 各種の療育法について、背景の理論の理解と実際の理解を得る。

##### 言 語 療 法 論

佐 々 加 代 子

言語療法（治療、臨床）の対象児・者は、「言語」に何らかの問題を持つ人たちである。問題は発達、発音、流暢性や失語などに分類できるが、MD、CP、口蓋裂、ろう、難聴、情緒などに伴うものがある。療法論は、臨床過程にみる

対象者と臨床者のとらえ方から原因論、診断、治療までを含んでいるので、それぞれの見方から治療までを紹介する。事例の検討も行なう。対象児・者にかかわる保育者への留意事項をまとめて提言する。

#### 自閉症治療論

伊藤英夫

自閉症は現在のところ、特異的な発達障害の一つとされているが、その原因などはまだ詳しく解明されていない。そこで、まず自閉症についての基本的理解を深めることから始める。現在行われている、早期療育プログラムや、新しい言語指導プログラム、海外での療育システム等、ビデオなどを用いて紹介する。適宜、自閉症児の統合保育や、通園施設での療育場面等、見学も行う予定である。

#### 情緒障害治療論

伊藤英夫

情緒障害の概念と治療法の理論について学んだ後、実際の症例研究を基に、情緒障害児のプロフィール、情緒的混乱に陥った背景とプロセス、治療過程の実際等についてディスカッションなどを行い、理解を深める。可能ならば、実際の治療場面の見学も行いたい。

#### 《卒業研究演習》

卒業研究演習 民秋 言・佐々加代子・三沢英夫・岡本富郎・八木絃一郎・  
近藤正樹・志摩 弘・若松美恵子・北 郁子

学生各自がもつ研究課題にもとづいて、小人数グループを編成し、専任教員が卒業研究演習を行なう。そこで専任教員の個別指導と、併せて、課題化を深める。また、学生の研究は、実習園での実習の中で、課題をさらに焦点化し、実際に即しながら課題を追求していくことが望まれる。なお、年度末には研究の成果を論文としてまとめ、さらに3月の卒業研究発表会では口頭発表も行なうことになっている。

#### 《専攻科実習》

専攻科実習 北 郁子・西ノ内多恵

前期実習は、毎週水曜日を、後期実習は、11月に2週間の集中実習を行う。実習園は、専攻するコース（乳児・幼児・障害児）、または卒業研究テーマによって、保育所・乳児院・幼稚園・障害幼児通園施設等の中から選ぶ。専攻科実習の特徴は、講義と実習と演習を有機的に関連させ、理論と実践の統合を

はかり、実践性を身につけることにある。本科と異なり、実習のテーマは学生自身が設定して実習の成果を挙げるよう主体性が求められる。

#### 《社会福祉関係科目》

##### 社会福祉制度政策論

都留民子

わが国の国民生活の実態を分析した上で、それに対する政策と制度の進展と現状を学習していく。児童、障害者、高齢者等の対象別の社会福祉サービスや援助実践の保証に加えて、住宅、医療、所得保障の体系についても理解を深めるよう進めていきたい。

##### 社会福祉制度政策論

樽川典子

児童福祉、障害者福祉、老人福祉、公的扶助のあり方を左右する思想を考察する。具体的には、生存権思想、母性イデオロギー、自己決定権の思想と各種福祉制度・政策のしくみとの関係を検討し、福祉制度が逆機能を生じるシステム、処遇についてを分析する。授業では、毎回の個別課題とグループ討議を課する。

##### 障害福祉論

茨木尚子

障害者福祉は障害をもつひとの生涯に渡ってのダイナミックな過程の中で、その固有な問題を捉え、権利の視点に立って把握していくことが重要である。講義では今日の障害者福祉を支えるノーマライゼーション、自立概念等の理念について理解を深める。また各福祉施策を障害者のライフサイクルにそって体系的にとらえ、その現状と問題点を明らかにする。その中で教育や医療、就労等の他領域との連携についても深く考えていきたい。

##### 家族福祉論

浅井春夫

現代の家族はさまざまな生活障害を抱えており、その具体的な解決策のひとつに家族福祉がある。現実の家族問題である児童養育問題、母子・父子家庭、老人・障害者家庭などを取りあげて、具体的な生活障害の内容を考える。さらに在宅福祉のあり方も含めて家族福祉政策のあるべき方向について考えていく。

##### 社会福祉調査法

岡本多喜子

社会福祉調査とは、社会福祉の対象がかかえる問題を明らかにし、解決するための方策を見出す方法である。社会福祉調査の手法は一つではなく、目的

に適した方法を選択する必要がある。将来調査を実施することを想定し、調査対象者の選び方、調査設計上の注意、解析の手法など基礎的なことを中心に、具体例を示しながら授業を行なう。

#### 社会福祉援助方法論

齋藤 謙

社会福祉における援助とはどのようなことであろうか。援助についての基本的な考え方を先づ学びたい。その上で方法論の基礎にふれることにする。

今年度は、いわゆるケースワークのみでなく、グループワークについても事例をいくつかとりあげて検討を加えるつもりである。

学習資料として、プリントや視聴覚教材を利用する。テキストについては未定。

#### 社会福祉特別演習

小林 捷哉

この演習は「社会福祉実習」の事前・事後指導を組み入れつつ、受講生の社会福祉に関する関心、研究課題、実習で取り組みたい課題などを引き出しながらすすめていく。実習指導についてはオリエンテーション、実習内容の説明、実習テーマの設定、反省会などを行なう。このほかに社会福祉に関する理論的または実際的な問題について文献資料の講読、受講生各自の関心にもとづく調査研究報告と、それに関する討議、などをもとに演習をすすめる。

#### 社会福祉実習

小林 捷哉

この実習は「社会福祉主事任用資格」取得希望者を対象に福祉事務所や児童相談所などの社会福祉専門行政機関、老人ホームや精神薄弱者援護施設などの社会福祉施設（原則として児童福祉施設を除く）で行なう。実習ではケースワーク、グループワークなどの援助技術を学ぶとともに、機関・施設を理解し、被援助者の生活を知ることがめざす。配属実習は7月下旬から8月上旬にかけての12日間を標準として実施し、実習の事前・事後指導は「社会福祉特別演習」の時間に実施する。

## 専攻科福祉専攻専門教育科目

### 〈基礎科目〉

#### 人間論

田中未来

まず、人間を、生物として、動物として、さらに人間として把えるための視点をあきらかにし、人間の自由と主体性、および価値の問題を考える。ついで、さまざまな人間観を手がかりにして、自らの人間観を確立するために、文学作品や哲学的な文献の一部を読み、または自分の実生活の体験を話しあって、それをテーマに討議を行う。そして、現代において、人間性を実現するための、保育、教育の役割を論ずる。

テキストは「教育と福祉のための人間論」田中未来（川島書店）

### 〈介護福祉専門科目〉

#### 老人福祉論

小林捷哉

〔講義の目標と内容〕1.老人福祉の社会的意義について理解する。2.高齢者の生活を知る。3.老人福祉の理念、原理を理解する。4.老人福祉の歴史的な展開を把握する。5.老人福祉の構造（対象、主体、方法）を理解する。6.老人福祉制度の概要（法制、行政機関、福祉サービス、施設、処遇）について理解する。7.老人保健について理解する。8.関連行政・諸サービス（民間シルバー・サービスをふくむ）について理解する。9.事例研究により理解を深める。

#### リハビリテーション論

菊池恵美子

〔講義の目標と内容〕1.リハビリテーションの理念と基本原則、歴史的発展を理解する。2.障害の分類とその意味、必要な援助法を学ぶ。3.リハビリテーションに関わる専門職種の役割と機能を理解する。4.目標の設定とリハビリテーション計画について知る。5.社会的リハビリテーションの実際と社会資源について学ぶ。6.リハビリテーションの立場から介助の意味と方法を知る。なお介助の方法については実技を行なう。

#### 老人・障害者の心理

河合千恵子

〔講義の目標と内容〕1.老化や障害が本人に与える心理的影響について理解する。2.老年期の心理的特性を理解する。3.障害の心理的特徴を理解する。4.障害の原因・程度・種類別にみた心理的特性を理解する。5.老年期や各

種障害者の心理的特性が家族や周囲の者にもたらす影響について理解する。  
6. 老人や障害者の心理への対応（病院・福祉施設・機関・家族の対応、カウンセリングとケースワーク、リハビリテーション、レクリエーション）を理解する。7. 事例研究により理解を深める。

### 家政学概論

北 郁子・佐藤美千子・山本良子

〔講義の目標と内容〕1. 家庭生活の社会的性格家庭機能の変容および家庭管理のあり方を理解させるとともに、家事、介護援助の社会的役割を考えさせる。2. 家庭の生活領域別に、管理の視点、基礎的な知識を学び、管理能力を養う。生活領域を、家庭生活の経営と管理、衣生活、食生活、住生活の4つの領域に分けて、それぞれの役割と機能、生活管理の具体的内容、老人・障害者の生活などについて学ぶ。〈講義は生活領域別に実習と組み合わせて実施する〉

### 家政学実習

北 郁子・佐藤美千子・山本良子

〔実習の目標〕1. 衣・食・住に関する技能を習得する。2. 老人や障害者の家庭生活に必要な実践的経営・管理能力を養う。  
〔実習の内容〕生活領域別に、1. 家庭生活の経営管理(家事(介護)作業計画の作成) 2. 衣生活(被服管理、老人障害者向けの被服デザインや構成等) 3. 食生活(食事歴調査、献立作成と実習、食生活の指導法) 4. 住生活(室内環境整備、清掃技術、住居管理等)の4領域に分けて、講義と組み合わせて行なう。

### 介護概論

木下安子

〔目標〕高齢や疾病、障害によって自力では生活が維持できない状態にある人々の生命を維持向上をさせ、その生活を快適に営めるよう支援することを目的とする。そのため直接的な身体的、心理的、社会的ケアの理論と方法を学ぶ。  
〔内容〕・介護の定義、変遷、社会的役割・介護の対象・介護の方法・介護技術の基本、生活行動援助、介護提供の場の介護課題・介護研究と専門性・介護論理・介護法規。

### 介護技術

木下安子

〔目標〕直接的な介護支援が出来るように、介護の基本技術の原理を理解し、その具体的な方法を講義、実習、演習によって習得する。  
〔内容〕・基本的な介護技術、生活行動援助技術(介護具、自助具の使用を含む)介護過程・特殊場面の介護、医療看護対応時の協力、救急、事故時の介護、終末期介護・介護記録・活動の検討方法・活動の場での介護技術の適用とその展開。

### 障害形態別介護技術

木下安子(介護技術全般・老人)・直居 鉄(視覚障害)

真廣邦彦(聴覚障害)・関谷栄子(肢体不自由・内部障害)

〔目標〕老人 視覚障害 聴覚・言語障害 肢体不自由・内部障害等、各障害形態の特性に応じた介護の原理と具体的な方法・技術を、講義、実習、演習によって学ぶ。

〔内容〕・老人・障害者の特性とその生活障害の理解・各特性に対応する介護課題・課題別介護方法の理解と技術の適用・各介護活動の場(施設、在宅等)での介護過程・保健、医療活動との連携・障害形態別事例検討。

### 《実習》

小林結美

### 実習指導

360時間の介護実習を充実させ、介護福祉専門職としての能力と自覚を培うことを目標に、実習前には自己の課題の設定、施設の理解、実習中は理論と実際の統合、実習後には体験をフィードバックしながらの反省を行なう。

特に実際の介護過程を理論的な裏付けを持って、具体的に実践できるように、後半は事例研究を中心に進めていく。

### 介護実習

木下安子・小林結美

〔目標〕福祉施設や在宅等の介護の現場において対象者に接し、指導者の指導のもとに援助課題にしたがって、直接、介護を行う。その結果を評価、検討し、介護実践力を養う。  
〔内容〕特別養護老人ホーム等でⅢ期に分け実習する。各期毎の実習課題を設け、段階別に総合的、包括的な援助をおこなう。  
〔方法〕対象者の理解と介護課題を知る。各介護課題にしたがって介護技術を適用する。結果を評価し事例研究を行う。

## 《特 講》

### 介護福祉特講（老年医学）

小池保子

I なぜ老年医学・老人医療か—人類・個々人の可能性を求めて— II 老年医学・老人医療の現状 1) 老年医学の挑戦 (1) 老化の解明 (2) 医療技術革新がすすめた老人医療 2) 克服できない「不健康な長生き」 (1) 死因につながる病気 (2) 日常生活が障害される病気 (3) 老人病の特徴 III 人病の克服—生きがいある生涯のために— 1) 日々必要な予防・治療・リハビリテーション 2) 同時に必要な生活援助

### 介護福祉特講（レクリエーション・ワーク）

三木和子

近年一般社会においては、労働時間の短縮による余暇時間の増大に伴い、レジャー・レクリエーションへの関心が高まって来ている。それとはやや趣を異にするが、社会福祉の分野においても、福祉サービス利用者の生活の質を高めるべく、レクリエーションへの期待が大きくなって来ている。レクリエーションをどのように捉えたら良いのか、又、レクリエーション・ワーカーの役割や活動について、理論、実技の両面から考えていきたい。

## 《卒業研究》

### 卒業研究演習

小林捷哉・木下安子

〔演習の目標と内容〕1. 学生が各自の介護福祉、老人福祉、障害福祉等に関する関心に基づいて研究課題を設定し、専任教員の指導のもとに個別または小グループで文献講読、資料の収集・分析、調査、観察、実験等の方法により研究をすすめる。研究の課題は特に実習と有機的に結びつけることによる学生の主体的な取り組みが期待される。なお、年度末には研究の成果を論文としてまとめ、さらに3月の卒業研究発表会で口頭発表を行なうことになっている。

## 《社会福祉関係科目》

### 社会福祉制度政策論

都留民子

わが国の国民生活の実態を分析した上で、それに対する政策と制度の進展と現状を学習していく。児童、障害者、高齢者等の対象別の社会福祉サービスや援助実践の保障に加えて、住宅、医療、所得保障の体系についても理解を深めるよう進めていきたい。

### 社会福祉制度政策論

樽川典子

児童福祉、障害者福祉、老人福祉、公的扶助のあり方を左右する思想を考察する。具体的には、生存権思想、母性イデオロギー、自己決定権の思想と各種福祉制度・政策のしくみとの関係を検討し、福祉制度が逆機能を生じるシステム、処遇についてを分析する。授業では、毎回の個別課題とグループ討議を課する。

### 障害福祉論

茨木尚子

障害者福祉は障害を持つ人の生涯にわたってのダイナミックな過程の中で、その固有な問題を捉え、権利の視点に立って把握していくことが重要である。講義では今日の障害者福祉を支えるノーマライゼーション、自立概念等の理念について理解を深める。また各福祉施策を障害者のライフサイクルにそって体系的にとらえ、その現状と問題点を明らかにする。その中で教育や医療、就労等の他領域との連携についても深く考えていきたい。

### 家族福祉論

浅井春夫

現代の家族はさまざまな生活障害を抱えており、その具体的な解決策のひとつに家族福祉がある。現実の家族問題である児童養育問題、母子・父子家庭、老人・障害者家庭などを取りあげて、具体的な生活障害の内容を考える。さらに在宅福祉のあり方も含めて家族福祉政策のあるべき方向について考えていく。

### 社会福祉調査法

岡本多喜子

社会福祉調査とは、社会福祉の対象がかかえる問題を明らかにし、解決するための方策を見出すためのひとつの科学的方法である。社会福祉調査の手法はひとつではなく、目的に適した方法を選択する必要がある。将来調査を実施することを想定し、調査方法、調査設計上の注意、解析の手法など基礎的なことを中心として、具体例を示しながら事業を行なう。

### 社会福祉援助方法論

斎藤謙

社会福祉における援助とはどのようなことであろうか。援助についての基本的な考え方を先づ学びたい。その上で方法論の基礎にふれることにする。

今年度は、いわゆるケースワークのみでなく、グループワークについても事例をいくつかとりあげて検討を加えるつもりである。

学習資料として、プリントや視聴覚教材を利用する。テキストについては未定。



### 社会福祉特別演習

小林 捷 哉

この演習は「社会福祉実習」の事前・事後指導を組み入れつつ、受講生の社会福祉に関する関心、研究課題、実習で取り組みたい課題などを引き出しながらすすめていく。実習指導についてはオリエンテーション、実習内容の説明、実習テーマの設定、反省会などを行なう。このほかに社会福祉に関する理論的または実際的な問題について文献資料の講読、受講生各自の関心にもとづく調査研究報告と、それに関する討議、などをもとに演習をすすめる。

### 社会福祉実習

小林 捷 哉

この実習は「社会福祉主事任用資格」取得希望者を対象に福祉事務所や児童相談所などの社会福祉専門行政機関、老人ホームや精神薄弱者援護施設などの社会福祉施設（原則として児童福祉施設を除く）で行なう。実習ではケースワーク、グループワークなどの援助技術を学ぶとともに、機関・施設を理解し、被援助者の生活を知ることがめざす。配属実習は7月下旬から8月上旬にかけての12日間を標準として実施し、実習の事前・事後指導は「社会福祉特別演習」の時間に実施する。